SH940

デジタル プロジェクタ

取扱説明書

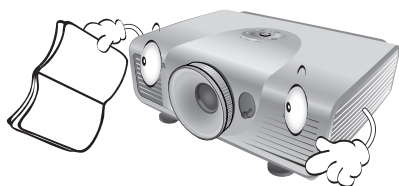
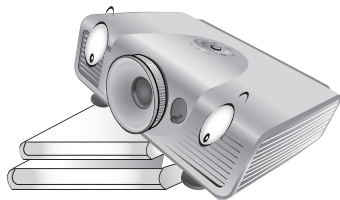
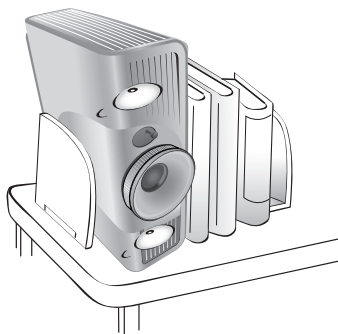
目次

日本語

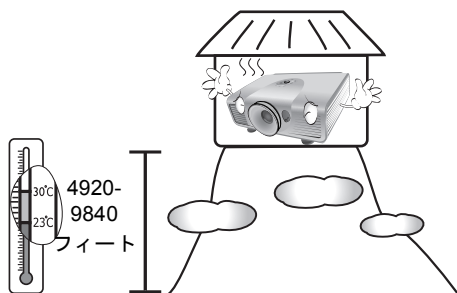
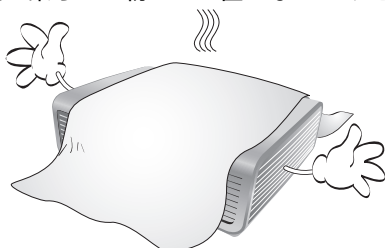
高性能 BenQ プロジェクタをお買い上げいただきありがとうございます。本製品はホームシアターもお楽しみいただけるよう設計されています。最高の結果をお楽しみいただくために、コントロールメニューや操作方法については本書をよくお読みください。

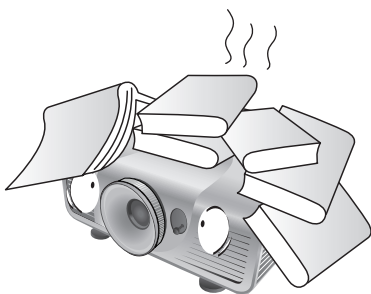
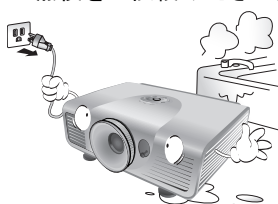
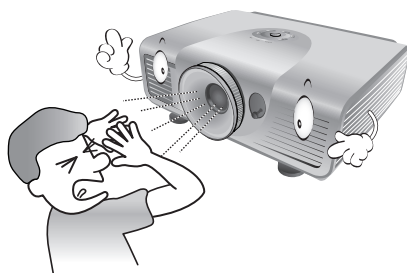
安全上のご注意

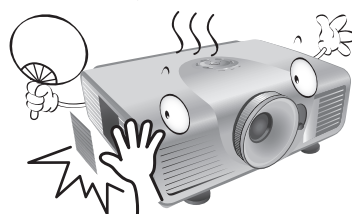
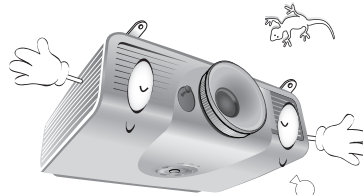
お使いのプロジェクタは、情報テクノロジ機器の最新の安全規格に適合するように設計され、テストされています。ただし、本装置を安全にご使用いただくために、このガイドおよび装置のマークに記載されている指示に従ってください。

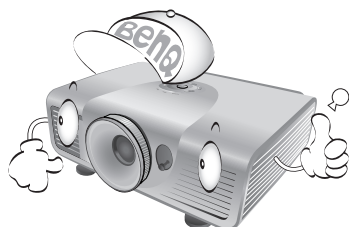
1. プロジェクタを操作する前に、このユーザーガイドをお読みください。本書は必要なときにいつでも参照できるように、安全な場所に保管しておいてください。

2. 使用時は必ず装置を水平な平面上に置いてください。
   - 本製品を不安定なカート、スタンド、テーブルに置かないでください。製品が落ちてケガをしたり、製品が故障したりする場合があります。
   - プロジェクタの近くに可燃物を置かないでください。
   - 左右の傾きが 10 度、または前後の傾きが 15 度を超える状態で使用しないでください。

3. 装置を縦向きにしないでください。縦向きにすると、プロジェクタが倒れ、けがをしたり損傷する恐れがあります。

4. 次の場所に装置を置かないでください。
   - 通気が不十分な場所または密閉されている場所。壁との間隔を 50 cm 以上空けて、プロジェクタの周辺の風通しをよくしてください。
   - 窓を締め切った車内など、非常に高温になる場所。
   - 非常に湿度が高い場所、ほこりの多い場所、タバコの煙にさらされる場所。このような場所に置くと、光学部品が汚れ、プロジェクタの寿命が短くなり、画像が暗くなります。

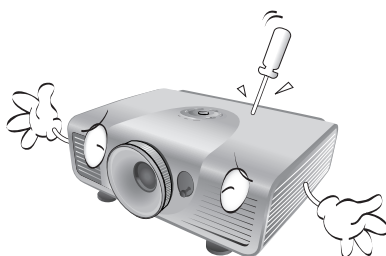
   - 火災報知器に近い場所。
   - 周辺温度が 35°C / 95°F を超える場所。
   - 高度が 海抜 1500 メートル / 4920 フィートを超える場所。

日本語

5. プロジェクタ動作中に通気孔をふさがないでください（スタンバイモードでも同様）:
   - 本製品の上に布などをかぶせないでください。
   - 本製品をブランケットなどの寝具類、または他の柔らかい物の上に置かないでください。

6. メインの電源電圧が ±10 ボルト程度の変動がある場所では、プロジェクタを電源安定化装置、サージプロテクタ、あるいは UPS のいずれかに接続されるようお薦めします。

7. 装置の上に乗ったり、物を置かないでください。

8. プロジェクタの上または近くに液体を置かないでください。プロジェクタに液体が入った場合は、保証は適用されません。プロジェクタを濡らした場合は、電源コンセントからプロジェクタを外し、BenQ にご連絡の上プロジェクタの点検をご依頼ください。

9. 動作中は、プロジェクタのレンズを覗き込まないでください。目を傷つける場合があります。

10. ランプは定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。

11. ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクタの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、プロジェクタを常温に戻してください。

12. 本製品を天井に取り付けて、イメージを反転投写することができます。BenQ の天井取り付けキットを使用してください。

13. プロジェクタが完全に冷却され、電源からコードを外すまでは、絶対にランプ部品を交換しないでください。

14. 点検修理については、認定技術者にお問い合わせください。

15. 本装置のキャビネットは開けないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。お客様ご自身で補修できるパーツは、専用の取り外し可能なカバーが付いたランプ部分だけです。詳細は 54 ページを参照してください。

    いかなる状況においても、これ以外のカバーをご自身で取り外そうとしないでください。修理は認定サービス担当者にお問い合わせください。

注意

将来搬送が必要な場合に備えて、元の梱包材料は捨てずに保管しておいてください。使用後にプロジェクタを梱包する必要がある場合は、搬送中に製品が破損しないように投写レンズを適切な位置に調整し、レンズをレンズクッションで保護し、さらにレンズクッションとプロジェクタクッションをぴったりとくっつけてください。

結露

寒い場所から暑い場所へプロジェクタを移動させた後は、すぐには装置を操作しないでください。このように温度が急激に変化した状態では、重要な内部部品が結露する場合があります。プロジェクタの故障の原因となりますので、このような状態では最低でも 2 時間以上経過してから装置を使用してください。

揮発性液体の使用の禁止

殺虫剤やある種のクリーナーなどの揮発性液体を装置の近くで使用しないでください。ゴムやプラスチック製品などを長時間装置に触れたままの状態で放置しないでください。装置に痕が残ってしまいます。化学薬品を染み込ませた布で装置を拭く場合は、本書に記載される安全のための指示にしたがってください。

処理

本装置には人体や環境に有害な素材が使用されています。

- リード（はんだに使用されています）
- 水銀（ランプに使用されています）

製品や使用済みランプを処理する方法については、お住まい地域の環境局にお尋ねください。

日本語

概要

パッケージ内容

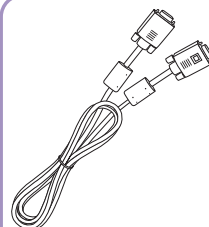
丁寧に開梱し、次に示すものがすべて揃っていることを確認してください。本製品を購入された地域によっては、同梱されていないアイテムもあります。ご購入場所をご確認ください。

アクセサリのいくつかは、国によって異なる場合があります。

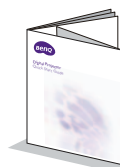
保証書は特定地域でしか提供しておりません。詳細は、本製品を購入された販売店へお問い合わせください。

プロジェクタ

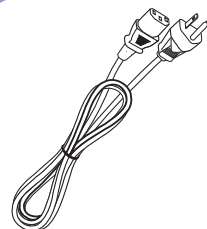
リモートコントロール

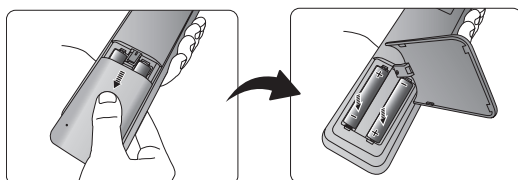
電池

VGA ケーブル

保証書

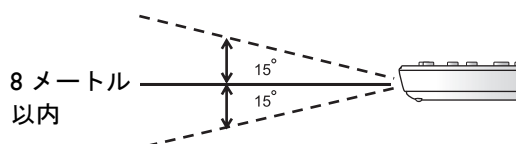
取扱説明書 CD

クイックスタートガイド

電源ケーブル

日本語

リモートコントロールとバッテリー

1. バッテリーカバーを開くには、リモコンを裏返してカバーのグリップを押し、図に示す方向にスライドさせてください。するとカバーが外れます。
2. 挿入されている電池を外し（必要な場合）、単 2 電池 2 個を極性に注意しながら挿入してください。プラス極（+）はプラスに、
マイナス極（-）はマイナスの方向に挿入してください。
3. 再びカバーを元に戻してください。カチッという音がしたらカバーが閉まったことを意味しています。
バッテリーについてのご注意

- **古いバッテリーと新しいバッテリーを混ぜて使用したり、異なるタイプのバッテリーを混ぜて使用したりしないでください。**
- **リモコンや電池は台所、浴室、サウナ、サンルーム、車内など高温多湿の場所に放置しないでください。**
- **また、使用済みの電池はメーカーの指示および地域の環境規定にしたがって処分してください。**
- **リモコンを長期間使用しないときには、漏電によりリモコンのコントロール部分が破損しないように電池は外しておいてください。**

リモコン操作

- リモコンとプロジェクタの赤外線 （IR）センサーの間には、IR 光線の障害となるような物を置かないでください。
- リモコンの有効範囲は最高 8 メートル、角度にして 30 度以内です。赤外線光線はスクリーンにも反射しますが、常にプロジェクタに向けて当てるようにしてください。

プロジェクタの天井取り付け

BenQ プロジェクタを安心してお使いいただくために、ここに記載する注意をよくお読みになり指示にしたがってください。

プロジェクタを天井に取り付ける場合は、BenQ プロジェクタ専用天井取り付けキットをお使いになり、しっかりと確実に設置してください。

BenQ プロジェクタ以外の天井取り付けキットをお使いになると、ゲージやネジの長さが正確でないためプロジェクタが正しく固定されず落下してしまう恐れがあります。

BenQ プロジェクタ専用天井取り付けキットは、BenQ プロジェクタを購入された販売店でお買い求めいただけます。また別途ケンジントンロックをお求めになり、プロジェクタのケンジントンロックスロットと天井取り付けブラケットのベースをセキュリティケーブルでしっかりと繋いでおくことをお薦めします。このようにしておくと、万一天井取り付けブラケットが緩んでしまった場合にも、プロジェクタを補助的に支えることができます。

プロジェクタの特長

- **HD に完全対応**

  このプロジェクタは標準精度 TV（SDTV）480i、480p、576i、576p、および高精度 TV（HDTV）720p、1080i、1080p フォーマット、真の 1：1 再現を実現する 1080p フォーマットと互換性があります。

- **高画質**

  このプロジェクタは高解像度、高度なホームシアター輝度、超高コントラスト、鮮明な色、優れたグレイスケール再現により、高画質な画像を提供します。

- **高輝度**

  このプロジェクタにはさまざまな照明状況でもすぐれた性能を発揮できるよう、超高輝度機能が備えられています。

- **超高コントラスト**

  プロジェクタには高コントラストを実現するために、ダイナミックな黒調整機能が備えられています。

- **鮮明な色再現**

  プロジェクタには 6 セグメントカラーホイールが備わっており、これ以下のセグメントのカラーホイールでは実現できないリアルな色合いと色域を実現します。

- **優れたグレイスケール**

  このプロジェクタを暗い部屋で使用する場合は、自動ガンマコントロールによりシャドウの詳細や夜または暗いシーンの詳細を優れたグレイスケールで表示します。

- **感覚的な操作ができるレンズシフト**

  プロジェクタを柔軟に設定できるように、感覚的な操作が可能なレンズシフトレバーが付いています。

- **多様な入力機能とビデオフォーマット**

  このプロジェクタはコンポーネントビデオ、コンポジットビデオ、HDMI、PC、などを含め、ビデオと PC 装置を接続するためのさまざまな入力方式や、自動化スクリーンや環境照明システムに接続にするための出力トリガーに対応しています。

- **プロフェッショナルな調整機能**

  優れた性能を提供するために、このプロジェクタには OSD メニューからエキスパートモードの設定を行うことができます。これらは認証された設置技術者のプロフェッショナルなキャリブレーションサービスを必要とします。

- **Panamorph レンズ対応**

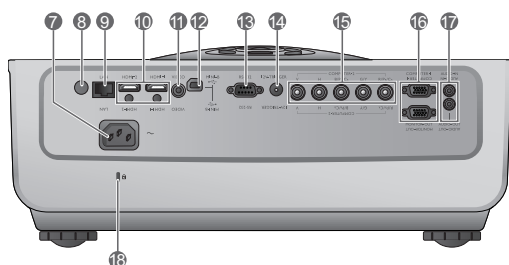
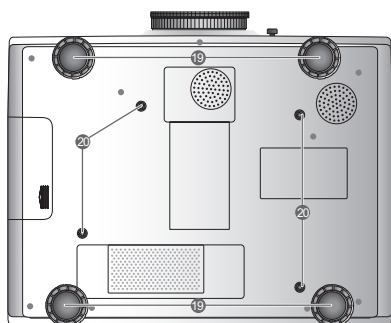
  このプロジェクタは 16：9 プロジェクタを縦横比 2.35：1 に変換できる Panamorph レンズに対応しています。

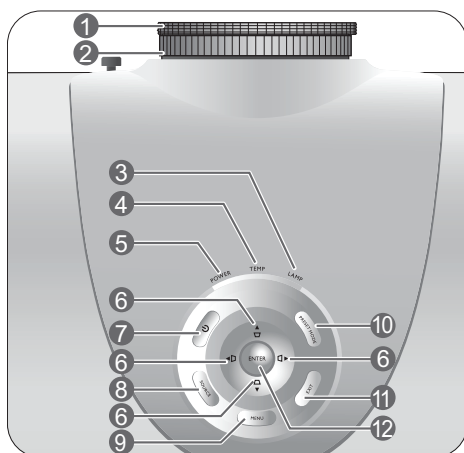
プロジェクタ外観ビュー

前面 / 上面

背面

接続についての詳細は、18 ページの「ビデオ装置の接続」を参照してください。

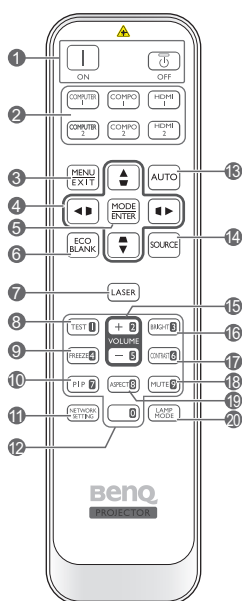
底面

1. コントロール パネル（詳細は 10 ページの「コントロール パネル」を参照してください。）
2. ランプカバー
3. 前面 IR センサー
4. レンズシフトレバー
5. 投写レンズ
6. 通気 （熱気排出）
7. AC 電源コード差し込み口
8. 背面 IR センサー
9. RJ45 LAN 入力ジャック
10. HDMI ポート
11. コンポーネントビデオ入力 （RCA）
12. USB ポート
13. RS-232 コントロールポート
    PC、またはホームシアター コントロール / 自動化システムとのインターフェイスとして使用します。
14. 12VDC 出力端末
    電子スクリーンや照明コントロールなど、外付け装置を使用するために使用します。これらの装置の接続方法については、販売店へお尋ねください。
15. コンポーネントビデオ入力（BNC）/ RGBHV
    5 BNC（RGB または（YPbPr）、SD または HD ビデオ信号のいずれかと接続します）。
16. RGB（PC）/ Component ビデオ（YPbPr/YCbCr）信号入力ジャック
    RGB 信号出力ジャック
17. オーディオ入力ジャック
    オーディオ出力ジャック
18. Kensington ロック スロット
19. 調整可能なフット
20. 天井取り付け用の穴

制御装置および機能

コントロール パネル

1. **ピントリング**
   投写イメージの焦点を調整します。
2. **ズームリング**
   投射した画像のサイズを調整します。
3. **LAMP（ランプインジケータ ライト）**
   プロジェクタのランプに問題が発生した場合に点灯または点滅します。
4. **TEMP（温度警告ライト）**
   プロジェクタの温度が異常に高くなると点灯または点滅します。
5. **POWER（電源インジケータ ライト）**
   プロジェクタ動作中に点灯または点滅します。
6. **矢印 / キーストーン キー（左 ◄/▯、上 ▲/▭、右 ►/◁、下 ▼/▭）**
   オン スクリーン ディスプレイ（OSD）メニューが有効になっているとき、現在の OSD メニューアイテムを選択した矢印の方向に移動します。

   投写角度によって生じる画像の歪みを手動で修正します。
7. **⏻ 電源**
   リモコンの**電源**ボタンと同じ役割を果たします。

   スタンバイと電源オンの状態を切り替えます。
8. **SOURCE**
   リモコンのソース選択キーと同じ役割を果たします。

   入力ソースは順番に切り替わります。
9. **MENU**
   オン スクリーン ディスプレイ（OSD）メニューのオン / オフを切り替えます。
10. **PRESET MODE**
    各入力に対して有効な、あらかじめ定義しておいた画像設定を順番に選択します。
11. **EXIT**
    前のオン スクリーン ディスプレイ（OSD）メニューに戻り、行った変更内容を保存して終了します。
12. **ENTER**
    選択したオン スクリーン ディスプレイ（OSD）メニューのアイテムを実行します。

リモートコントロール

1. **⏻電源 ON/OFF**
   スタンバイモードと電源オンの状態を切り替えます。
2. **ソース選択キー**
   表示する入力ソースを選択します。
3. **MENU/EXIT**
   オン スクリーン ディスプレイ（OSD）メニューをオンにします。前のオンスクリーンメニューに戻り、メニューを終了して設定を保存します。
4. **矢印 / キーストーン キー（左 ◄/▷、上 ▲/▭、右 ►/◁、下 ▼/▭）**
   オン スクリーン ディスプレイ（OSD）メニューが有効になっているとき、現在の OSD メニューアイテムを選択した矢印の方向に移動します。

   投写角度によって生じる画像の歪みを手動で修正します。
5. **MODE/ENTER**
   選択したオンスクリーンメニューアイテムを有効にします。

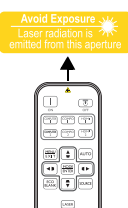
   使用中の入力信号によって、ピクチャモードを選択できます。
6. **ECO BLANK**
   スクリーンに表示されている画像を消します。
7. **LASER**
   プレゼンテーション時にレーザーライトを発します。
8. **TEST**
   テストパターンを表示します。
9. **FREEZE**
   投写画像を一時停止します。
10. **PIP**
    Picture In Picture（PIP）画面が表示されます。
11. **NETWORK SETTING**
    ネットワーク設定を直接入力します。
12. **数値ボタン**
    ネットワーク設定で数値を入力します。

    パスワードの入力を求められているときには、数値ボタン 1、2、3、4 を押すことはできません。
13. **AUTO**
    表示画像に最適なピクチャタイミングを自動的に決定します。
14. **SOURCE**
    表示する入力ソースを選択します。
15. **VOLUME+/VOLUME-**
    音量を調整します。
16. **BRIGHTNESS**
    明るさを調整します。
17. **CONTRAST**
    コントラストを調整します。
18. **MUTE**
    プロジェクタの音声をオン / オフにします。
19. **ASPECT**
    表示縦横比を選択します。
20. **LAMP MODE**
    ランプ モードを選択します。

LASER ポインタの操作

レーザーポインタは発表者がプレゼンテーションを行うときに使用するものです。ポインタを押すと赤い光線が発光し、インジケータも赤く点灯します。

レーザーポインタはおもちゃではありません。レーザーポインタはお子様の手の届かない場所に保管しておいてください。

⚠ **絶対にレーザー光線ウィンドウを覗いたり、光線を人の目に向けて当てないでください。リモコンをご使用になる前に、裏面に記載されている警告をお読みください。**

プロジェクタの配置

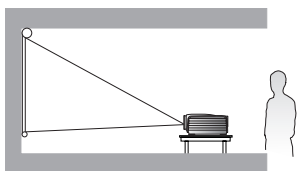
場所の選択

本機は次の 4 通りの設置状態で使うことができます。

部屋のレイアウトやお好みで、どの設定で設置するか決めてください。設置する際は、スクリーンのサイズや位置、電源コンセントがある場所、プロジェクタとその他の装置の距離や位置などを考慮してください。

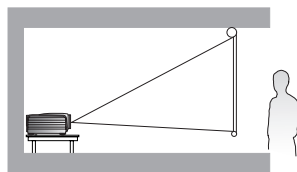
日本語

1. 床面前面 :

プロジェクタをスクリーンの正面に床面近くに設置します。これが最も一般的な設定です。

3. 床面背面 :

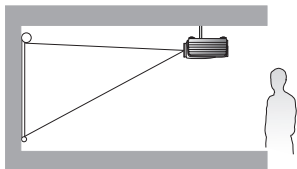
プロジェクタをスクリーン背面、床面近くに設置します。

専用の背面スクリーン投写が必要です。

* プロジェクタの電源を入れてから、**床面背面**を設定してください。

2. 天井前面 :

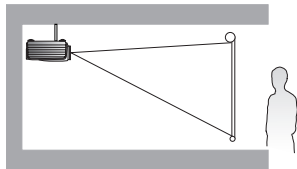
プロジェクタをスクリーン正面の天井に取り付けます。

この方法で設置する場合は、BenQ プロジェクタ天井取り付けキットをご購入ください。

* プロジェクタの電源を入れてから、**天井前面**を設定してください。

4. 天井背面 :

プロジェクタをスクリーン背面の天井に取り付けます。

専用の背面投写スクリーンと BenQ プロジェクタ天井取り付けキットが必要です。

* プロジェクタの電源を入れてから、**天井背面**を設定してください。

*** プロジェクタの位置を設定するには :**

1. **プロジェクタで MENU を押すか、リモコンで MENU/EXIT を押して、システム設定メニューが選択されるまで ◀/▶ を押し続けてください。**
2. **▲/▼ を押してプロジェクタの配置を選択し、位置が選択されるまで ◀/▶ を押し続けてください。**

スクリーンサイズの調整

投写距離、ズーム設定、ビデオフォーマットにより投写画面サイズは変化します。

このプロジェクタには取り外し可能なレンズが付いています。詳細は、17 ページの「投写レンズのシフト」を参照してください。レンズを上下に完全にシフトした状態で測定した縦オフセット値は、15 ページと 16 ページの表を参照してください。

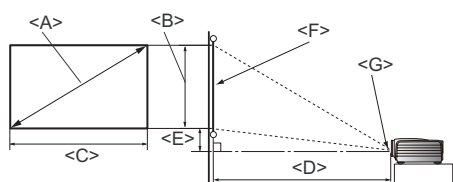
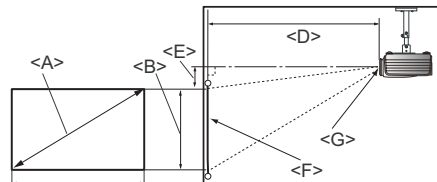
120 インチ、縦横比 4:3 のスクリーンをお使いになる場合は、" スクリーンの縦横比は 4:3、投写画像の縦横比は 16:9" をご参照ください。平均投写距離は 494 cm です。

縦横比 16:9 のスクリーンを使用し、測定した投写距離が 4.5 m（450 cm）であった場合は、" スクリーンの縦横比は 16:9、投写画像の縦横比は 16:9" を参照してください。" 平均 " 欄で最も近い値は 449 cm です。同じ列を見ると、100 インチが必要なスクリーンサイズであることが分かります。

15 ページの「投写距離 <D> [cm]」で最短および最長投写距離を確認すると、4.5m の投写距離の場合は 90 インチおよび 110 インチのスクリーンでも良いことがわかります。このプロジェクタは同じ投写距離で、別のサイズのスクリーンに投写するよう調整することもできます（ズームコントロールを使用します。）スクリーンサイズが変わると、縦オフセットの値も変わりますので注意してください。

プロジェクタを別の場所に移動させると（推奨される範囲内で）、スクリーンの中央に画像が表示されるようにプロジェクタを上下に傾ける必要があります。そうすると、画像に歪みが生じる場合があります。この場合は、キーストーン機能を使用して歪みを補正します。詳細は、27 ページの「画像の歪みの補正する」を参照してください。

投写サイズ

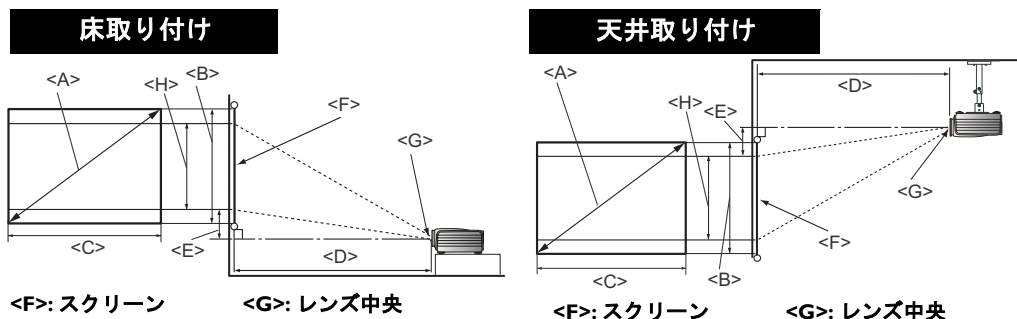
16:9 スクリーンを使用する場合の設置

<F>: スクリーン **<G>: レンズ中央** **<F>: スクリーン** **<G>: レンズ中央**

■ スクリーンの縦横比は 16:9、投写画像の縦横比は 16:9

スクリーンサイズ			投写距離 <D> [cm]			レンズの最低 / 最高位置 <E> [cm]
対角 <A> [インチ（mm）]	高さ <B> [cm]	幅 <C> [cm]	最短距離（最大ズームにて）	平均	最長距離（最小ズームにて）	
30 (762)	37	66	108	135	162	4.7
40 (1016)	50	89	144	180	215	6
50 (1270)	62	111	180	224	269	8
60 (1524)	75	133	215	269	323	9
70 (1778)	87	155	251	314	377	11
80 (2032)	100	177	287	359	431	12
90 (2286)	112	199	323	404	485	14
100 (2540)	125	221	359	449	539	16
110 (2794)	137	243	395	494	592	17
120 (3048)	149	266	431	539	646	19
130 (3302)	162	288	467	583	700	20
140 (3556)	174	310	503	628	754	22
150 (3810)	187	332	539	673	808	23
160 (4064)	199	354	575	718	862	25
170 (4318)	212	376	610	763	916	26
180 (4572)	224	398	646	808	969	28
190 (4826)	237	421	682	853	1023	30
200 (5080)	249	443	718	898	1077	31
250 (6350)	311	553	898	1122	1346	39
300 (7620)	374	664	1077	1346	1616	47

これらの数値は実際の値とは若干の誤差があるかもしれません。推奨するスクリーンサイズのみ表示してあります。スクリーンサイズが上記の表に記載されていない場合は、販売店へお問い合わせください。

4:3 スクリーンを使用する場合の設置

下の図と表は縦横比 4:3 のスクリーンをお持ちの方、または 4:3 スクリーンを使って縦横比 16:9 の画像を投写したい方のために提供されています。

■ スクリーンの縦横比は 4:3、投写画像の縦横比は 16:9

スクリーンサイズ			投写距離 <D> [cm]			レンズの最低 / 最高位置 <E> [cm]	画像の高さ <H> [cm]
対角 <A> [インチ（㎜）]	高さ <B> [cm]	幅 <C> [cm]	最短距離（最大ズームにて）	平均	最長距離（最小ズームにて）		
30 (762)	46	61	99	124	148	4.3	34.3
40 (1016)	61	81	132	165	198	5.7	45.7
50 (1270)	76	102	165	206	247	7.1	57.2
60 (1524)	91	122	198	247	297	8.6	68.6
70 (1778)	107	142	231	288	346	10.0	80.0
80 (2032)	122	163	264	330	395	11.4	91.4
90 (2286)	137	183	297	371	445	12.9	102.9
100 (2540)	152	203	330	412	494	14.3	114.3
110 (2794)	168	224	363	453	544	15.7	125.7
120 (3048)	183	244	395	494	593	17.1	137.2
130 (3302)	198	264	428	536	643	18.6	148.6
140 (3556)	213	284	461	577	692	20.0	160.0
150 (3810)	229	305	494	618	742	21.4	171.5
160 (4064)	244	325	527	659	791	22.9	182.9
170 (4318)	259	345	560	700	840	24.3	194.3
180 (4572)	274	366	593	742	890	25.7	205.7
190 (4826)	290	386	626	783	939	27.1	217.2
200 (5080)	305	406	659	824	989	28.6	228.6
250 (6350)	381	508	824	1030	1236	35.7	285.8
300 (7620)	457	610	989	1236	1483	42.9	342.9

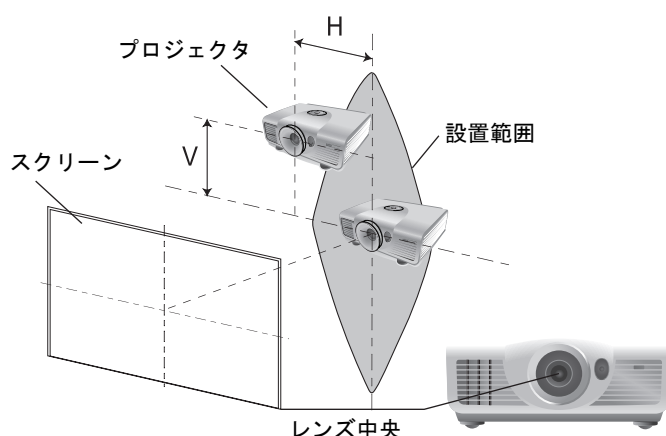
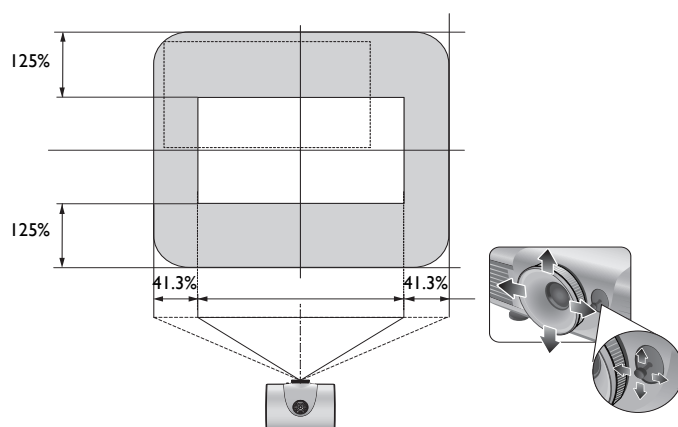
これらの数値は実際の値とは若干の誤差があるかもしれません。推奨するスクリーンサイズのみ表示してあります。スクリーンサイズが上記の表に記載されていない場合は、販売店へお問い合わせください。

投写レンズのシフト

プロジェクタをより自由に取り付けられるように、レンズシフト機能が備わっています。この機能を活用すると、プロジェクタがスクリーンの中央に画像を投写するよう調整することができます。

レンズシフトは投写画像の高さまたは幅のパーセンテージにより表示されます。これは、投写画像の垂直または水平方向の中心からのオフセットにより測定されます。レバーを使用すると、画像の位置によって可能な範囲でどのような方向へもシフトできます。

レンズシフトレバーの使い方：

1. レバーを左に回してレバーを解除します。
2. レバーを動かして投写位置を調整します。
3. レバーを右に回してロックします。

- **レバーは締めすぎないでください。**
- **画質が悪い場合はレンズシフト調整は正常に機能しません。画像が歪む場合は、****26 ページの「投写イメージの調整」****を参照してください。**

日本語

ビデオ装置の接続

プロジェクタは VCR、DVD プレーヤー、デジタルチューナー、ケーブルボックスまたは衛星デコーダー、ビデオゲームコンソール、デジタルカメラなど、あらゆる種類のビデオ装置と接続できます。またデスクトップ PC やラップトップ PC、アップルマッキントッシュ機との接続も可能です。いずれかの方法でプロジェクタとソース装置を接続してください。ただし、方法によってビデオ品質が異なります。接続方法は、プロジェクタとビデオソース装置の両方に搭載されている端末に合ったものを選択してください。

端末名	端末の形態	参照	画質
HDMI	HDMI	18 ページの「HDMI デバイスの接続」	● 最高
コンポーネントビデオ	V H B/Pb/Cb G/Y R/Pr/Cr	19 ページの「コンポーネントビデオ /RGB 機器との接続」	● かなり良い
ビデオ	VIDEO	19 ページの「ビデオ機器との接続」	○ 標準
PC（D-SUB）	PC	20 ページの「コンピュータの接続」	● かなり良い

準備

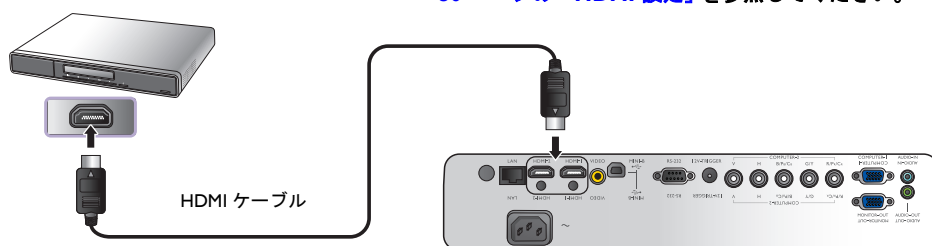
信号ソースをプロジェクタに接続する際には、次の点を確認してください。

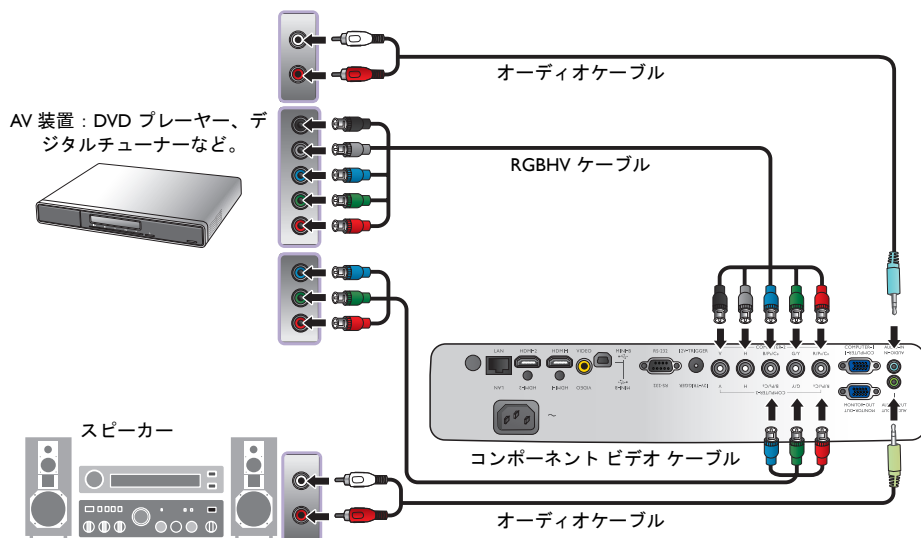
1. 接続を行う前にすべての機器の電源をオフにします。
2. 各ソースに合った、正しい種類のプラグが付いたケーブルのみご使用ください。
3. ケーブルのプラグがすべて装置のジャックにしっかりと接続されていることを確認してください。

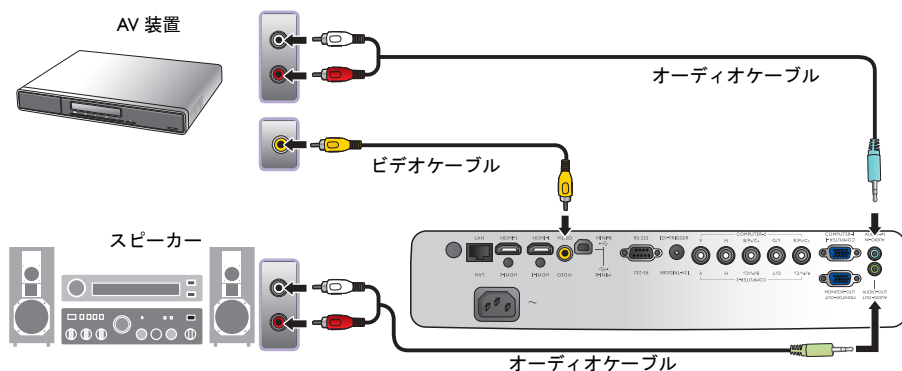
プロジェクタによっては、次の接続図に示すすべてのケーブルが同梱されていない場合があります（パッケージ内容については、6 ページの「パッケージ内容」を参照してください）。ほとんどのケーブルは電気店でお買い求めいただけます。

HDMI デバイスの接続

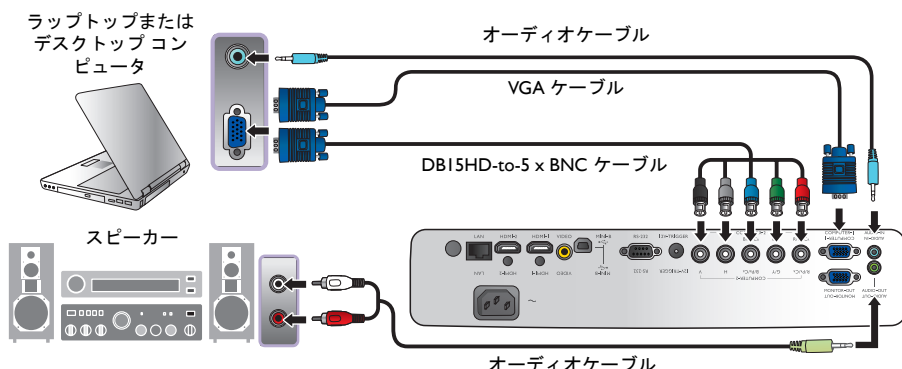
HDMI（High-Definition Multimedia Interface）は DTV チューナー、DVD プレーヤー、ディスプレイなど、対応するデバイスとデバイスの間を 1 本のケーブルで未圧縮のビデオデータを転送することができます。この方式を使用すると、非常に優れたデジタル映像とオーディオをお楽しみいただけます。プロジェクタと HDMI デバイスを接続するには、HDMI ケーブルをお使いください。

HDMI 信号の正しい入力ソースタイプを選択するには、50 ページの「HDMI 設定」を参照してください。

コンポーネントビデオ /RGB 機器との接続

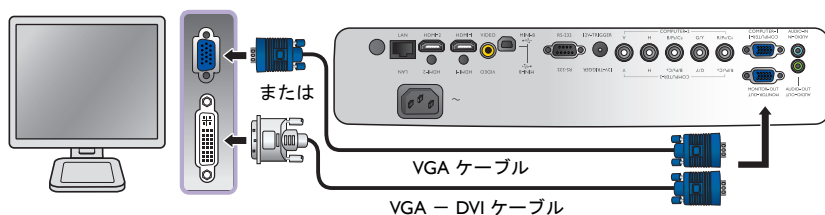
RGB ソース（DVD プレーヤーまたは HD セットトップ ボックス）を RBGHV 入力に接続します。BNC タイプのコンポーネント ケーブルでビデオ機器を接続することも可能です。オーディオ接続は通知目的のためにのみ提供されています。別途オーディオケーブルを適切なオーディオアンプに接続することができます。

ビデオ機器との接続

同一機器に繋がっているコンポジット ビデオ ケーブルを接続するだけです。オーディオ接続は通知目的のためにのみ提供されています。別途オーディオケーブルを適切なオーディオアンプに接続することができます。

- **コンポーネントビデオ接続方式によりプロジェクタとビデオソース装置をすでに接続してある場合は、ンポジットビデオ接続方式でこの装置を接続すると不要に 2 つ目の接続が生じ、画質が悪くなるため、この装置を接続する必要はありません。コンポーネントビデオがビデオソース装置にない場合（アナログビデオカメラなど）に限り、コンポジットビデオ接続を行う必要があります。**
- **電源をオンにしても選択したビデオイメージが表示されず、正しいビデオソースが選択されている場合、ビデオソースの電源がオンになっていて正しく動作していることを確認してください。また信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。**

コンピュータの接続

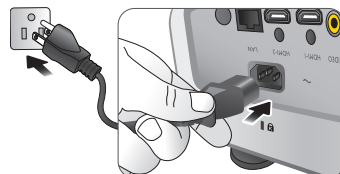
VGA ケーブルまたは DB15HD-to-5 x BNC ケーブルでプロジェクタとコンピュータを接続します。

多くのノートパソコンでは、プロジェクタを接続すると外付けビデオポートはオンになりません。通常 FN + F3 や CRT/LCD キーなどを使用すると、外部表示のオン / オフを切り替えることができます。ノートパソコン上で CRT/LCD と記された機能キーか、モニタの記号が表示された機能キーの位置を確認してください。FN と記号が記された機能キーを同時に押します。ノートパソコンのキーの組み合わせについては、ノートパソコンの説明書をお読みください。

モニタの接続

ご自分のプレゼンテーションをスクリーンだけでなく、モニタにも表示して近くで画面を確認したい場合、さらに **MONITOR OUT** ジャックがプロジェクタに付いている場合は、プロジェクタの **MONITOR OUT** 信号出力ジャックを接続できます。

- **MONITOR OUT は、PC ジャックに正しく D-Sub 入力信号が送られなければ機能しません。**
- **プロジェクタがスタンバイモードになっているときにこの接続方式を使用するには、詳細セットアップメニューでモニタ出力スタンバイ機能がオンになっていることを確認してください。詳細は、49 ページの「モニタ出力スタンバイ」を参照してください。**

プロジェクタの使用方法

準備

1. プラグを電源に接続し、接続されている装置をすべてオンにしてください。
2. まだ電源に接続されていない場合は、同梱されている電源ケーブルをプロジェクタの背面にある AC コネクタに挿入します。
3. 電源コードをコンセントに差し込んで、壁のスイッチをオンにします。

電気ショックや火災の原因となりますので、本製品では本製品付属のアクセサリ（電源ケーブルなど）だけをご使用ください。

日本語

起動

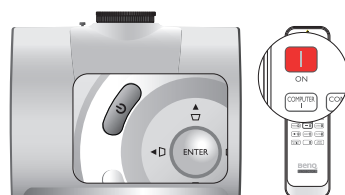
次の手順にしたがってください。

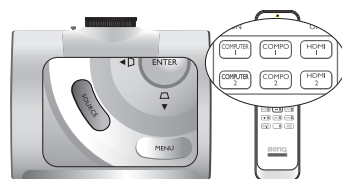
1. 電源投入後、電源ライトがオレンジ色に変わったことを確認してください。
2. プロジェクタの**電源**（⏻）ボタンか、またはリモコンの **ON** を数秒間押し続けるとプロジェクタがオンになります。ランプが点灯するとすぐに、「**電源オンの音**」が聞こえます。
   音をオフにする方法については、37 ページの「オフにする電源オン / オフ音」を参照してください。

3. ファンが作動を開始し、ウォームアップする間スクリーン上に数秒間スタートアップ画像が表示されます。

   ウォームアップ中はプロジェクタはいかなるコマンドにも応答しません。

4. 初めてプロジェクタを起動する場合は、画面の指示に従って OSD 言語を選択してください。
5. パスワードの入力を求められた場合は、矢印キーを使って 6 桁のパスワードを入力してください。詳細は、24 ページの「パスワード機能を使用する」を参照してください。
6. リモコンのソースキーの 1 つか、プロジェクタの **SOURCE** を押して任意の信号を選択します。詳細は、22 ページの「入力ソースの選択」を参照してください。
7. 入力ソースの水平周波数がプロジェクタの範囲を超えると、「信号なし」というメッセージが表示されます。このメッセージは、入力ソースを適切なものに変更するまで表示され続けます。

プロジェクタを短期間の間に再起動しようとすると、数分間ファンが作動して冷却します。ファンが停止し、POWER（電源インジケータライト）がオレンジ色に点灯したら再び ⏻ 電源を押してプロジェクタを起動してください。

入力ソースの選択

このプロジェクタは同時に複数の装置と接続することができます。プロジェクタをオンにすると、プロジェクタを最後にシャットダウンしたときに使用されていた入力ソースに接続しようとします。

ビデオソースを選択するには：

- **リモコンまたはプロジェクタの使い方**

リモコンのソースキーの 1 つか、プロジェクタの **SOURCE** を押して任意の信号を選択します。

- **OSD メニューの使用方法**

1. プロジェクタで **MENU** を押すか、リモコンで **MENU/ EXIT** を押して、**システム設定**メニューが選択されるまで ◀/▶ を押し続けてください。
2. ▼ を押して**入力ソース**を選択し、次に **ENTER** を押してください。するとソース選択バーが表示されます。
3. 任意の信号が選択されるまで ▲/▼ を押し、次に **ENTER** を押します。

   信号が検出されたら、選択したソース情報が画面に数秒間表示されます。プロジェクタに複数の装置が接続されている場合は、ソース選択バーに戻り別の信号を検出することができます。

注意：有効な入力ソースを自動検出する間、プロジェクタはソース選択バーに示すとおり、上から下へ順番に信号を検出しています。

- プロジェクタに信号を自動検出させたい場合は、**オンシステム設定** > **自動ソース探知**メニューで を選択します。
- PIP 機能を使用する方法については、41 ページの「複数の画像ソースを同時に表示する」を参照してください。

カラースペースの変更

プロジェクタの **HDMI** 入力を介してプロジェクタを DVD プレーヤーに接続するような場合、投写画像の色が正しく表示されない場合がありますが、その場合はカラースペースを **YUV** に変更してください。

1. **MENU/EXIT** を押して、**ディスプレイ**メニューが表示されるまで◀/▶ を押してください。
2. ▼ を押して、**カラースペース転送**を選択し、次◀/▶ を押して適切なカラースペースを選択してください。

この機能は HDMI 入力ポート使用中にしか有効になりません。

日本語

メニューの使用方法

プロジェクタは、多国語対応のオン スクリーン ディスプレイ（OSD）メニューを備えており、各種の調整や設定が行えます。

以下に OSD メニューの概要を紹介します。

OSD メニューを使用するには、OSD メニューの言語を選択してください。

1. プロジェクタの **MENU** か、リモコンの **MENU/EXIT** を押して、OSD メニューをオンにします。

2. ◄/► を使って**システム設定** メニューを選択します。

3. ▼ を押して**言語**を選択し、その後で ◄/► を押して言語を選択します。

4. プロジェクタの **MENU** を 1 回押すか、**EXIT** を 2 回押すか、あるいはリモコンの **MENU/EXIT** を押して *、設定を保存し、終了します。

***1 回目に押すとメインメニューに戻り、2 回目に押したときに OSD メニューを閉じます。**

プロジェクタの保護

セキュリティケーブルロックの使い方

盗難防止のために、プロジェクタは安全な場所に設置してください。またはケンジントンロックなどのロックを購入して、プロジェクタを安全に保護してください。プロジェクタにはケンジントンロック スロットが付いています。詳細は、9 ページの 18 をご覧ください。

ケンジントンケーブルロックは通常キーとロックを組み合わせたものです。ご使用方法については、ロックの説明書を参照してください。

パスワード機能を使用する

セキュリティのため、および許可されていないユーザーがプロジェクタを勝手に使用できないように、このプロジェクタにはパスワードを設定することができます。パスワードはオンスクリーンメニューで設定します。パスワードを設定し、この機能を選択すると、プロジェクタはパスワードで保護された状態になります。正しいパスワードを知らないユーザーはプロジェクタを操作することができません。

パスワード機能を有効にしたにも関わらず、パスワードを忘れてしまうと面倒なことになります。(必要であれば) 本書を印刷し、設定したパスワードを本書に書き留めておき、安全な場所に保管しておいてください。

パスワードの設定

一度パスワードを設定して有効にすると、プロジェクタを起動するたびに正しいパスワードを入力しなければプロジェクタを使用することはできなくなります。

1. プロジェクタで **MENU** を押すか、リモコンで **MENU/EXIT** を押して、**詳細セットアップ**メニューが選択されるまで ◀/▶ を押し続けてください。
2. ▼ を押して**パスワード**を選択し、次に **ENTER** を押してください。すると**パスワード**ページが表示されます。
3. **パスワード**を選択し、◀/▶ を押して**オン**を選択してください。すると**パスワードの入力**ページが表示されます。

4. 図に示す通り、4 つの矢印キー（▲、▶、▼、◀）はそれぞれ 4 つの数字（1、2、3、4）を示しています。リモコンかプロジェクタの矢印キーを使って、6 桁のパスワードを設定してください。初めてこの機能をお使いになる場合は、矢印キー ▲ を 6 回押してプロジェクタのデフォルトのパスワード（1、1、1、1、1、1）を入力してください。
   パスワードが設定されると、OSD メニューは**パスワード**ページに戻ります。

   重要：入力した数字は画面上にはアスタリスク（*）で表示されます。本書の下の欄に設定したパスワードを書き留めておいてください。
   パスワード：＿＿＿＿＿＿

5. OSD メニューを終了するには、プロジェクタの **MENU** を押すか、リモコンの **MENU/EXIT** を押してください。

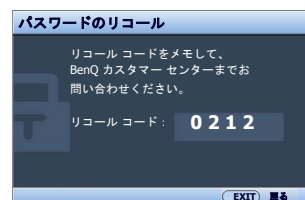
パスワードを忘れた場合

パスワード機能を有効にすると、プロジェクタをオンにするたびに 6 桁のパスワードを入力するよう要求されます。間違ったパスワードを入力すると、エラーメッセージが 3 秒間表示され、その後**パスワードの入力**ページに入ります。別の 6 桁のパスワード上を押してもう一度やり直してください。またはパスワード忘れてしまい、さらに本書にパスワードを記録しておかなかった場合は、パスワードの呼び戻し手続きを行ってください。詳細は、25 ページの「パスワードの呼び戻しを行うには」を参照してください。

パスワード入力を続けて 5 回間違えると、プロジェクタは間もなく自動的にシャットダウンします。

日本語

パスワードの呼び戻しを行うには

1. **パスワードの入力**ページがスクリーンに表示されることを確認してください。プロジェクタの **PRESET MODE**、またはリモコンの **MODE/ENTER** を 3 秒間押します。スクリーン上にコード化された番号が表示されます。
2. 番号を書き留めて、プロジェクタをオフにしてください。
3. 番号をデコードするには、お近くの BenQ サービスセンターにお問い合わせください。お客様がこのプロジェクタを使用できる正当なユーザーであることを確認するために、購入を証明する文書の提示を求められる場合があります。

パスワードの変更

1. プロジェクタで **MENU** を押すか、リモコンで **MENU/EXIT** を押して、**詳細セットアップ**メニューが選択されるまで ◀/▶ を押し続けてください。
2. ▲/▼ を押して、**パスワード**を選択し、次に **ENTER** を押してください。すると**パスワード**ページが表示されます。
3. **パスワードの変更**を選択し、**ENTER** を押します。すると**現在のパスワードの入力**ページが表示されます。
4. 古いパスワードを入力してください。
   - パスワードが正しく入力されると、「**新しいパスワードの入力**」というメッセージが表示されます。
   - パスワードが間違っていれば、パスワードエラーメッセージが 3 秒間表示され、「**現在のパスワードの入力**」というメッセージが表示されますので、もう一度パスワードを正しく入力してください。プロジェクタの **MENU** を押すか、リモコンの **MENU/EXIT** を押して変更内容をキャンセルするか、別のパスワードをお試しください。
5. 新しいパスワードを入力します。

   重要：入力した数字は画面上にはアスタリスク（*）で表示されます。本書の下の欄に設定したパスワードを書き留めておいてください。

   パスワード：__ __ __ __ __ __
   本書は安全な場所に保管しておいてください。

6. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。
7. プロジェクタに新しいパスワードが割り当てられました。次回プロジェクタを起動したときには、必ず新しいパスワードを入力してください。
8. OSD メニューを終了するには、プロジェクタの **MENU** を押すか、リモコンの **MENU/EXIT** を押してください。

パスワード機能を無効にする

パスワード機能を無効にするには、**詳細セットアップ > パスワード > パスワード**メニューに戻ってください。**パスワード**を選択し、◀ /▶ を押して**オフ**を選択してください。すると「**パスワードの入力**」というメッセージが表示されます。現在のパスワードを入力してください。

- パスワードが正しく入力された場合は、OSD メニューの**パスワード**ページで**パスワード**の欄が**オフ**の状態で表示されます。次回プロジェクタをオンにするときには、パスワードを入力する必要はありません。
- パスワードが間違っていれば、パスワードエラーメッセージが 3 秒間表示され、「**パスワードの入力**」というメッセージが表示されますので、もう一度パスワードを正しく入力してください。プロジェクタの **MENU** を押すか、リモコンの **MENU/EXIT** を押して変更内容をキャンセルするか、別のパスワードをお試しください。

パスワード機能を無効にしても、再びパスワード機能を有効にするときに古いパスワードを入力するよう要求されますので、古いパスワードは忘れないように記録し保管しておいてください。

投写イメージの調整

投写角度の調整

プロジェクタの底面には 4 個のアジャスタフットが備え付けられています。これらは投写角度を変更する必要がある場合に使用します。適切な角度になるようにフットを調整してください。

スクリーンとプロジェクタが互いに垂直でない場合、投写イメージは縦方向に台形になります。このような問題を補正する方法については、27 ページの「画像の歪みの補正する」を参照してください。

イメージの自動調整

場合によっては、画質を最適化する必要が生じることもあります。これを実行するには、プロジェクタかリモコンの **AUTO** を押します。組み込みのインテリジェント自動調整機能により周波数およびクロックの値が再調整され、3 秒以内に最適な画質が得られます。

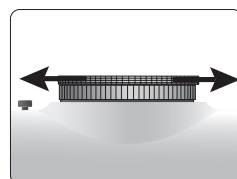
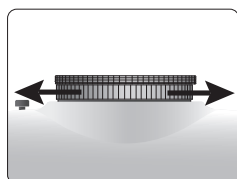
下図のように、現在のソース情報がスクリーンの隅に 3 秒間表示されます。

- **AUTO が機能している間、スクリーンは消画の状態になります。**
- **この機能は PC 信号（アナログ RGB）が選択されている場合にしか使用できません。**

画像サイズと明瞭さの微調整

1. 投写画像のサイズを調整するには、ズームリングを使用します。

2. ピントリングを回して焦点を合わせます。

日本語

画像の歪みの補正する

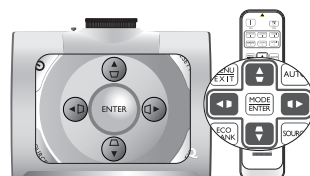
キーストーンはプロジェクタがスクリーンに対して垂直に設置されていないため、投写画像が次のいずれかのように台形状に表示されるときに発生します。

- 2 つの平行する辺 （左と右、または上と下）が、片方がもう片方よりも明らかに長い。
- 辺が平行になっていない。

画像の形状を補正するには、次の手順にしたがってください。

1. 投写角度を調整してください。プロジェクタをスクリーンの手前中央に配置し、レンズの中央をスクリーンに合わせてください。
2. それでも画像が歪んでいる場合、あるいはプロジェクタを上記のように設置できない場合は、手動で補正する必要があります。
   - **リモコンまたはプロジェクタの使い方**

     i. リモコンかプロジェクタの矢印 / キーストーンキーの 1 つ（左 ◀/▯、上 ▲/▭、右 ▶/▯、下 ▼/▭）を押すと、**キーストーン**ページが表示されます。

     ii. 詳しい操作方法については、iv ステップを参照してください。

   - **OSD メニューの使用方法**

     i. プロジェクタで **MENU** を押すか、リモコンで **MENU/ EXIT** を押して、**ディスプレイ**メニューが選択されるまで ◀/▶ を押し続けてください。

     ii. ▼ を押して**キーストーン**を選択し、次に **ENTER** を押してください。すると**キーストーン**ページが表示されます。

     iii. **2D キーストーン**を選択し、**ENTER** を押します。するとキーストーン補正ページが表示されます。

     iv. 投写画像の形状とは逆のキーストーンアイコンが示されたキーを押します。形状が正しく表示されるまでそのキーを続けて押すか、他のキーを押してください。
     キーを押す度に、ページ下の値が変わります。キーを繰り替えし押すうちに、その最高値または最低値に達すると、画像の形状が変化しなくなります。それ以上はその方向に変更を加えることはできません。

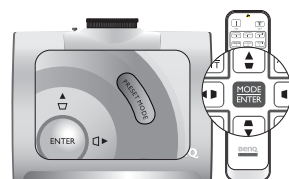
プリセットとユーザーモードの使い方

プリセットモードの選択

このプロジェクタは操作環境や入力ソースの画像タイプによって自由に選択できるように、いくつかのピクチャモードが設定されています。

必要に合ったピクチャモードを選択するには :

- **リモコンの使用方法**

任意のモードが選択されるまで、プロジェクタの **PRESET MODE** を押すか、リモコンの **MODE/ENTER** をします。

- **OSD メニューの使用方法**

1. プロジェクタで **MENU** を押すか、リモコンで **MENU/EXIT** を押して、**ピクチャ -- 基本設定**メニューが選択されるまで ◀/▶ を押し続けてください。
2. ▼ を押して、**ピクチャ モード**を選択します。
3. 任意のモードが選択されるまで、◀/▶ を押してください。

これらのモードには次に説明する通り、各投写状況に合わせて値がプリセットされています。

- **シネマ** : このモードはやや暗めの部屋で、PC 入力を介してデジタルカメラや DV からカラームービーやビデオクリップを再生するのに適しています。
- **ダイナミック** : 画像の輝度を最大限明るくします。このモードは、輝度を最高に明るくする必要がある環境に適しています（プロジェクタを明るい部屋で使用する場合など）。
- **プレゼンテーション** : プレゼンテーションに向いています。このモードでは PC の色に合わせて輝度が強調されます。
- **sRGB**: RGB の純度を最高まで上げて、輝度設定に関係なく実物に近いリアルな画像を再現します。このモードは sRGB 対応の正しく調整されたカメラで撮影したフォトを見たり、PC グラフィックや AutoCAD などの描画アプリケーションを見るのに適しています。
- **ユーザー 1**/ **ユーザー 2**: カスタム設定を呼び出します。詳細は、29 ページの「ユーザー 1/ ユーザー 2 モードの設定」を参照してください。

選択したピクチャモードの微調整

あらかじめ定義していおいたピクチャモードの設定は、**ピクチャ -- 基本設定**および**ピクチャ -- 高度な設定**メニューに表示される有効なアイテムから変更することができます。

ピクチャモードの微調整 :

1. プロジェクタで **MENU** を押すか、リモコンで **MENU/EXIT** を押して、**ピクチャ -- 基本設定**または**ピクチャ -- 高度な設定**メニューが選択されるまで ◀/▶ を押し続けてください。
2. ▼ を押して調整したいアイテムを選択し、◀/▶ を押して任意の値に設定します。選択したアイテムはプロジェクタに自動的に保存され、その入力ソースに関連付けられます。
   詳細は、30 ページの「画質の微調整」と 31 ページの「画質の詳細設定」を参照してください。

ピクチャモードを変更する度に、そのピクチャモードに最後に設定された値に変更されます。入力ソースを変更すると、その入力と解像度の最後に使用したピクチャモードと設定が読み込まれます。

ユーザー 1/ ユーザー 2 モードの設定

現在有効なピクチャモードが目的に合致しない場合は、2 種類のモードをユーザー定義することができます。ピクチャモードの 1 つ（選択したユーザーモードを除く）を参照点として、設定をカスタマイズすることができます。

1. **ピクチャ -- 基本設定**メニューで**ピクチャ モード**を選択し、◀/▶ を押して、**ユーザー 1** 、または**ユーザー 2** モードのいずれかを選択します。
2. ▼ を押して、**設定のロード元**を選択します。

この機能は、ピクチャ モード サブメニューアイテムでユーザー 1 か ユーザー 2 のいずれかのモードが選択されていなければ使用できません。

3. **ENTER** を押すと**設定のロード元**ページが表示されます。
4. ▼ を押してニーズに最も合ったピクチャモードを選択し、**ENTER** を押した後で **EXIT** を押してください。
5. ▼ を押して変更したいサブメニューアイテムを選択し、◀ /▶ を使って値を調整します。詳細は、30 ページの「画質の微調整」と 31 ページの「画質の詳細設定」を参照してください。
6. すべての設定が完了したら、プロジェクタの **MENU** を押すか、リモコンの **MENU/EXIT** を押して設定を保存します。

ユーザーモードの名前変更

ユーザー 1 と **ユーザー 2** の名前を、このプロジェクタを使用する人が分かりやすい名前に変更することができます。新しい名前はアルファベット（A-Z、a-z)、数字（0-9)、およびスペース（_）を使って 12 文字以内で指定することができます。

ユーザーモードの名前を変更するには：

1. **ピクチャ -- 基本設定**メニューで**ユーザー モード名の変更**を選択し、**ENTER** を押すと**ユーザー モード名の変更**ページが開きます。
2. ▲/▼ を押して名前を変更したいアイテムを選択し、**ENTER** を押してください。白いボックスに最初の文字がハイライト表示されます。
3. ▲/▼ を押して最初の文字を選択します。
4. ▶ を押して新しい名前を指定し、完了したら **ENTER** を押して新しい名前を確認してください。
5. 他の名前も変更したい場合は、2-4 を繰り返します。

ピクチャモードのリセット

ピクチャ -- 基本設定と**ピクチャ -- 高度な設定**メニューで行った変更内容はすべて、**リセット**を選択することによって工場出荷時の値に戻すことができます。

ピクチャモードをプリセットの工場出荷時の値に戻すには：

1. **ピクチャ -- 基本設定**メニューで**ピクチャ モード**を選択し、◀/▶ を押してリセットしたいピクチャモード（**ユーザー 1** 、または**ユーザー 2** を含みます）を選択します。
2. ▼ を押して、**ピクチャ設定をリセット**を選択し、次に **ENTER** を押してください。確認のメッセージが表示されます。
3. ◀/▶ を押して、**リセット**を選択し、次に **ENTER** を押してください。するとピクチャモードが工場出荷時の設定に戻ります。
4. 他のピクチャモードもリセットしたい場合は、1-3 を繰り返します。

ここでのピクチャ設定をリセット機能と、詳細セットアップメニューの全設定をリセットを混同しないでください。全設定をリセット機能はシステム全体のほぼすべての工場設定値を元に戻します。詳細は、**50 ページの「全設定をリセット」を参照してください。**

日本語

画質の微調整

どのようなピクチャモードが選択されていても、プレゼンテーションの目的に合うようにこれらの設定を細かく調整することができます。これらの調整内容は、OSD メニューを終了するときに選択中のプリセットモードに保存されます。

調整輝度

ピクチャ -- 基本設定メニューで**輝度**を選択し、プロジェクタかリモコンで ◀/▶ を押して値を調整します。

値を高くするほど画像が明るくなります。設定値が小さいほど画像は暗くなります。このコントロールを調整すると、画像の黒い領域が黒く表示されるため、暗い領域の詳細が見えるようになります。

調整コントラスト

ピクチャ -- 基本設定メニューで**コントラスト**を選択し、プロジェクタかリモコンで ◀/▶ を押して値を調整します。

値を高くするほどコントラストが増加します。選択した入力と表示環境に合わせて**輝度**を調整した後、これを使って白のピークレベルを設定することができます。

調整色

ピクチャ -- 基本設定メニューで**色**を選択し、プロジェクタかリモコンで ◀/▶ を押して値を調整します。

設定値を低くすると色の飽和レベルが低くなり、最低値に設定するとモノクロ画像になります。逆に値を上げすぎると、画像の色が不自然に強調されてしまいます。

調整色合い

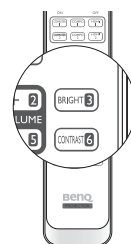
色合いを選択し、プロジェクタかリモコンで ◀/▶ を押して値を調整します。

値を高くするほど赤みがかった画像になります。値を低くするほど緑がかった画像になります。

調整シャープネス

シャープネスを選択し、プロジェクタかリモコンで ◀/▶ を押して値を調整します。

値を高くするほど画像がシャープになります。値を低くするほど画像が柔らかくなります。

輝度、**コントラスト**などの機能は、リモコンの **BRIGHTNESS**、**CONTRAST** を押して調整バーを表示し、次に ◀/▶ を押して値を調整することもできます。

画質の詳細設定

ピクチャ -- 高度な設定メニューには、設定をより細かく設定できるオプションがあります。設定を保存するには、プロジェクタの **MENU** を押すか、リモコンの **MENU/EXIT** を押してください。

設定ブラック レベル

ブラック レベルを選択し、プロジェクタかリモコンで ◀/▶ を押して **0 IRE** か **7.5 IRE** を選択します。

グレイスケールのビデオ信号は IRE ユニットで測定されます。NTSC TV 規格を使用するエリアでは、グレイスケールを 7.5 IRE（黒）から 100 IRE（白）で測定する場合がありますが、PAL 規格を使用するエリアや、日本の NTSC 規格を使用するエリアでは、グレイスケールは 0 IRE（黒）から 100 IRE（白）で測定します。入力ソースが 0 IRE または 7.5 IRE のどちらを使用するかを確認した上で、正しい選択を行ってください。

画像の透明度を調整する

投写画像にノイズが走る場合があります。

画質をより高くするには：

1. **透明度調整**を選択し、プロジェクタかリモコンで **ENTER** を押し、**透明度調整**ページを開きます。
2. ▲/▼ を押して調整したいアイテムを選択し、◀/▶ を押して任意の値に設定します。
   - **ノイズ リダクション**: メディアプレーヤーによって生じる画像の電子ノイズを縮減します。値を高くするほどノイズが少なくなります。
   - **詳細拡張設定**: 画像をシャープにします。値を高くするほど、画像の詳細がよりはっきりとします。
   - **ルマ転送**（ルミナンス転送の向上）: 画像の輝度を強調します。値を高くするほど、効果が高くなります。
   - **クロマ転送**（クロマ転送の向上）: 色のぼかしを縮減します。値を高くするほど、効果が高くなります。

色温度の選択*

色温度を選択し、プロジェクタかリモコンで ◀/▶ を押して値を調整します。

いくつかの色温度設定が使用できます。

1. **ランプ ネイティブ :** 色温度はランプの元の状態のまま、輝度は高くなります。この設定は、輝度を最高に明るくする必要がある環境に適しています（プロジェクタを明るい部屋で使用する場合など）。
2. **高い :** 画像を赤みがかった白で表示します。
3. **標準 :** 白の色合いを通常に保ちます。
4. **低い :** 画像を青みがかった白で表示します。
5. **ユーザー 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3**: **ユーザー _ の色温度の微調整**メニューでカスタマイズした設定を呼び出します。詳細は、32 ページの「色温度の設定」を参照してください。

*** 色温度について**：
用途に応じて「白」とみなされる色合いが多数存在します。白色を表すためによく使用される方法の 1 つに 「色温度」があります。色温度の低い白色は赤みがかった白で表示されます。色温度の高い白色は青みがかって表示されます。

日本語

日本語

色温度の設定

任意の色温度を設定するには：

1. **色温度**を選択し、プロジェクタかリモコンで ◀/▶ を押し、**ユーザー 1**、**ユーザー 2** または **ユーザー 3** を選択します。
2. ▼ を押して**ユーザー _ の色温度の微調整**を選択し、次に **ENTER** を押してください。すると**ユーザー _ の色温度の微調整**ページが表示されます。

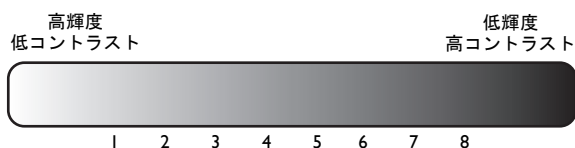
   メニュー名 「ユーザー _」は 色温度で選択した設定に相当します。

3. ▲/▼ を押して変更したいアイテムを選択し、◀ /▶ を押して値を調整します。
   - **赤ゲイン / 緑ゲイン / 青ゲイン** : 赤、緑、青のコントラストレベルを調整します。
   - **赤オフセット / 緑オフセット / 青オフセット** : 赤、緑、青の輝度レベルを調整します。
4. 設定を保存して終了するには、プロジェクタの **MENU** を押すか、リモコンの **MENU/EXIT** を押してください。

ガンマ設定の選択

ガンマ選択を選択し、プロジェクタかリモコンで ◀ /▶ を押して値を調整します。

ガンマとは、入力ソースと画像の輝度の関連性のことです。

- ガンマ 1/2/3
  投写具合によって適切な値を選択してください。
- ガンマ 4
  画像の輝度を上げます。明るい環境、会議室、リビングルームに最適です。
- ガンマ 5/6
  暗室でムービーを鑑賞するのに最適です
- ガンマ 7/8
  ほとんどが暗いシーンで構成されるムービーに最適です。

調整 Brilliant Color

この機能は新しい色処理アルゴリズムとシステムレベルでの向上を利用して、よりリアルで鮮やかな色を提供すると共に、明るさをより高めることができます。**オフ** に設定すると、**Brilliant Color** は無効になります。

色管理

教室、会議室、ラウンジなど照明が常にオンになっている場所や、外窓から日光が差し込む部屋など、ほとんどの状況ではカラーマネージメントは必要ありません。

重役会議室、レクチャシアター、ホームシアターなど、照明レベルを調整できる場所に設置した場合に限り、カラーマネージメントが必要となります。カラーマネージメントを使用すると、色をより正確に再現するために、より詳細に色を調整することができます。

適切なカラーマネージメントは、操作および管理された状況でのみ行うことができます。この場合、色を測定するために色彩計を使用する必要があり、いくつかの適切なソース画像が必要です。これらのツールはプロジェクタには付いていませんが、販売店や経験豊富な技術者にお尋ねになると入手できるはずです。

色管理では、6 セット（RGBCMY）の色を気に入った色に調整することができます。各色を選択すると、その色範囲と彩度を個別に調整することができます。

設定を調整して保存するには：

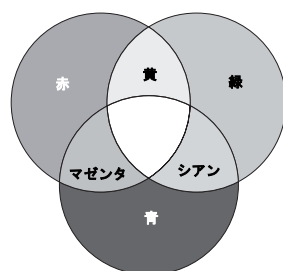
1. **ピクチャ -- 高度な設定**メニューで**色管理**を選択して **ENTER** を押します。すると**色管理**ページが表示されます。
2. **基本色**を選択し、◄/► を押して**赤**、**黄**、**緑**、**シアン**、**青**、**マゼンタ** の中から色を選択します。
3. ▼ を押して、**範囲**を選択し、◄/► を押して調整したい色範囲を選択します。範囲を広くするほど、2 色の隣り合う色に含まれる色域が広くなります。

   各色がどのように関連し合っているかについては、右図を参照してください。例えば、**赤**を選択し、その範囲を 0 に設定すると、純粋な赤しか選択されます。その範囲を広げると、黄色に近い赤とマゼンタに近い赤の両方が含まれます。

   ▼ を押して**彩度**を選択し、◄/► を押して彩度レベルを調整します。

   赤を選択し、その範囲を 0 に設定すると、純粋な赤の彩度しか影響を受けません。

   彩度とはビデオ映像の色の量のことです。値を低くすると彩度が低くなります。0 に設定すると、画像から完全に色を抜いてしまいます。彩度が高すぎると、色が濃すぎて非現実的な色になってしまいます。

4. 設定を保存して終了するには、プロジェクタの **MENU** を押すか、リモコンの **MENU/EXIT** を押してください。

設定 Film Mode

この機能は映画 DVD の映像を投写する際、画質を向上させます。

設定 3D Comb Filter

この機能はコンポジット信号を Y（輝度）信号と C（色）信号に分離させ、色を適切な場所に配置することで、より鮮明でシャープな画像を再生します。

この機能はビデオ信号が選択されている場合にしか使用できません。

縦横比の選択

縦横比とは、イメージの幅と高さの比率のことです。デジタル TV は通常縦横比 16:9 です。これはこのプロジェクタのデフォルト値に設定されています。またアナログ TV と DVD は 4:3 です。

デジタル信号処理能力が進化するにつれ、このプロジェクタのようなデジタルディスプレイ装置はイメージ出力をイメージ入力ソースとは異なるアスペクトにまで拡張できるようになりました。画像全体が均等に引き伸ばされるように画像はリニア方式で引き伸ばすことができます。非リニア式を使用すると、画像が歪みます。

投写画像の比率を変更する（ソースの縦横比に関係なく）：

- **リモコンの使用方法**

1. **ASPECT** を押して現在の設定を表示します。
2. **ASPECT** を繰り返し押して、ビデオ信号のフォーマットとディスプレイの条件に合わせて適切な縦横比を選択してください。

- **OSD メニューの使用方法**

1. プロジェクタで **MENU** を押すか、リモコンで **MENU/EXIT** を押して、**ディスプレイ**メニューが選択されるまで ◄/► を押し続けてください。
2. ▼ を押して、**縦横比**を選択します。
3. ◄/► を押して、ビデオ信号のフォーマットとディスプレイの条件に合わせて適切な縦横比を選択してください。

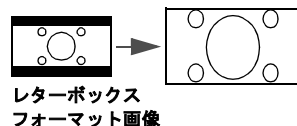
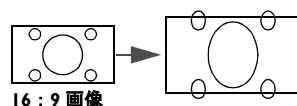
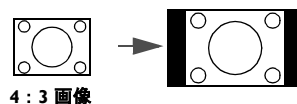
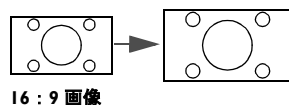
縦横比について

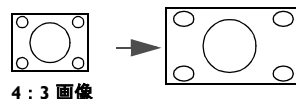
16：9 画像

1. **アナモフィック（ANA）**：スクリーンの中央が 16：9 の縦横比になるようにイメージを調整します。この設定は、縦と横のサイズを別々に処理することを除き、画像をリニア方式で引き伸ばし、リサイズします。ソース画像の高さと幅はそれぞれ投写高と投写幅の最大値まで引き伸ばされます。この方法では、元のソース画像の縦横比によっては投写縦横比が変わる場合があります。アナモフィックの設定は、縦横比を変更する必要がないため高精度 TV など、すでに縦横比が 16:9 になっている画像に適しています。
2. **4:3**: スクリーンの中央が 4:3 の縦横比になるように画像を調整します。これは縦横比を変更せずにすむため、コンピュータモニタ、標準精度の TV、縦横比 4:3 の DVD ムービーなどの 4:3 画像に適しています。
3. **レター ボックス（LB）**：プロジェクタの最高解像度に合わせて画像の横幅を調整し、画像の高さの投写幅の 3/4 にリサイズします。この場合、画像の高さが表示可能な高さを超えてしまい、投写画像の上下両端に沿って一部が消えてします場合があります（表示されない）。この設定は、レターボックス フォーマットで表示されるムービーに適しています（上下に黒いバーを持つもの）。

4：3 画像

16：9 画像

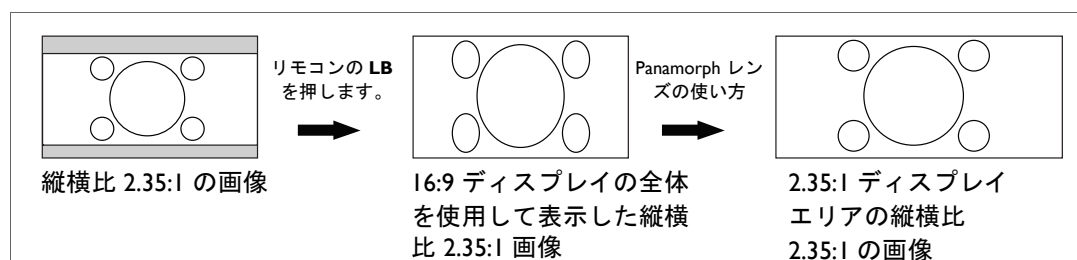
レターボックス
フォーマット画像

4. **ワイド** : は非リニア方式で画像を横方向に引き伸ばします。つまり画像の中央部が歪むのを防止するために、画像の端が画像の中央よりも外側に引き伸ばされます。この設定は縦横比 4:3 の画像の幅を 16:9 スクリーンの幅に引き伸ばしたい場合に適しています。この場合、高さは変更されません。ワイドスクリーンムービーの中には、その幅が 4:3 の幅まで縮小されているものがあり、この設定を使用することにより元の幅に戻して鑑賞することができます。

4 : 3 画像

5. **実寸** : この設定は投写中央部を変更またはリサイズすることなく、1 対 1 のピクセルマッピングで画像を表示します。この設定は PC ソース入力に適しています。

4 : 3 画像

- **黒い部分が無効になったエリアで、白い部分が有効なエリアです。**
- **未使用の黒いエリアには OSD メニューを表示することができます。**

Panamorph レンズの使い方（オプション）

Panamorph レンズは 16:9 プロジェクタを大抵の動画で使用されている 2.35:1 縦横比に変換し、画像の上または下に文字ボックスバーを表示せずに最高の状態でムービーを表示すると共に、解像度を 33%、輝度を 20% 向上させます。

2.35:1 画像を表示するには 2.35:1 スクリーンが必要な場合があります。詳細は、www.panamorph.com をご覧になるか、プロジェクタを購入された販売店へお尋ねください。

画像を隠す

リモコンの **ECO BLANK** を使用するとスクリーンの画像が消えるため、聴衆の関心をすべて講演者に向けることができます。イメージが非表示になると、スクリーンの隅に、「**ECO BLANK**」と表示されます。オーディオ入力を使用している場合は、この機能を使用してもサウンドは流れたままになります。

ディスプレイ > 画面オフタイマーメニュー で、一定時間消画スクリーン状態で何もしなかった場合に、自動的に画像が戻るように消画の時間を設定することができます。タイマーは 5 分おきに 5 分から 30 分の範囲で設定できます。

プリセットの時間がこれから行うプレゼンテーションに合わない場合は、**無効**を選択してください。

画面オフタイマーの有効 / 無効に関わらず、プロジェクタかリモコンのキーをどれでも押すと直ちに画像を戻すことができます。

ECO BLANK を押すと、プロジェクタランプは自動的に省電力モードに入ります。

画像の静止

リモコンの **FREEZE** 押すと画像が静止します。スクリーンの左上隅に「**フリーズ**」と表示されます。この機能を解除するには、プロジェクタかリモコンでどれでもキーを押してください。

スクリーン上でイメージが静止しても、ビデオやその他の装置で映像は流れ続けています。接続した装置に有効なオーディオが含まれている場合は、画像が静止しても音声は聞くことができます。

音量調整

次の手順はプロジェクタのスピーカーの音量調整を行うためのものです。プロジェクタのオーディオ入力が正しく接続されていることを確認してください。オーディオ入力の接続方法については、18 ページの「ビデオ装置の接続」を参照してください。

無音にする

音を一時的に消すには :

1. プロジェクタの **MENU** を押すか、リモコンの **MENU/EXIT** を押して OSD メニューを開き、◀ /▶ を押して**詳細セットアップ** メニューを選択します。
2. ▼ を押して、**オーディオ設定**を選択し、次に **ENTER** を押してください。すると**オーディオ設定**ページが表示されます。
3. **ミュート**を選択し、◀/▶ を押して**オン**を選択してください。

音質調整

音量を調整するには、リモコンで **VOLUME+/VOLUME-** を押します。または、

1. 上記のステップ 1-2 の手順に従ってください。
2. ▼ を押して、**音量**を選択し、次に ◀/▶ を押して任意の音量に設定してください。

低音と高音を調整する :

1. 上記のステップ 1-2 の手順に従ってください。
2. ▼ を押して、**高音 / 低音**を選択し、次に ◀/▶ を押して値を選択します。

SRS を設定するには :

1. 上記のステップ 1-2 の手順に従ってください。
2. ▼ を押して **SRS** を選択し、◀/▶ を押してこの機能をオン / オフにします。

オフにする電源オン / オフ音

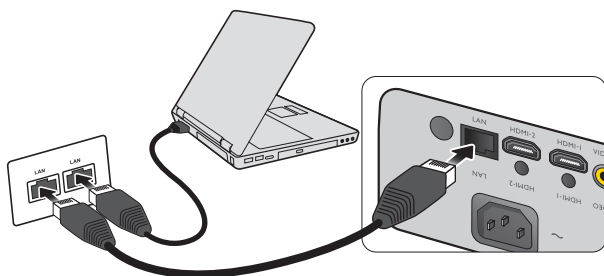
トーンをオフにするには :

1. 上記のステップ 1-2 の手順に従ってください。
2. ▼ を押して、**電源オン / オフ音**を選択し、次に ◀/▶ を押して**オフ**を選択してください。

電源オン / オフ音を変更するには、ここでオンまたはオフに設定するしかありません。無音にしたり、音量を変更したりしても、電源オン / オフ音には影響しません。

LAN 環境でプロジェクタを操作する

LAN コントロール設定を使用すると、コンピュータとプロジェクタが同一 LAN に正しく接続されている場合は、ウェブブラウザを使ってコンピュータからプロジェクタを管理することができます。

日本語

LAN コントロール設定の設定

DHCP 環境の場合：

1. RJ45 ケーブルでプロジェクタの RJ45 LAN 入力ジャックと RJ45 ポートを接続してください。
2. プロジェクタで **MENU** を押すか、リモコンで **MENU/EXIT** を押して、**詳細セットアップ** メニューが選択されるまで ◀/▶ を押し続けてください。
3. ▼ を押して **LAN コントロール設定**を選択し、次に **ENTER** を押してください。すると **LAN コントロール設定** ページが表示されます。
4. ▼ を押して、**コントロール**を選択し、次に ◀/▶ を押して **RJ45** を選択してください。
5. ▼ を押して、**DHCP** を選択し、次に ◀/▶ を押して**オン**を選択してください。
6. ▼ を押して**適用**を選択し、次に **ENTER** を押してください。
7. 15 ～ 20 秒程お待ちになり、再び **LAN コントロール設定** ページに入ってください。
8. **プロジェクタの IP アドレス**、**サブネットマスク**、**既定のゲートウェイ**、および **DNS サーバー** 設定が表示されます。**プロジェクタの IP アドレス** 列に表示される IP アドレスを書き留めておいてください。

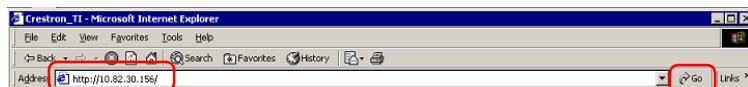
それでも プロジェクタの IP アドレス が表示されない場合は、ITS 管理者にお問い合わせください。

非 DHCP 環境の場合：

1. 上記のステップ 1-4 の手順に従ってください。
2. ▼ を押して、**DHCP** を選択し、次に ◀/▶ を押して**オフ**を選択してください。
3. ITS 管理者から**プロジェクタの IP アドレス**、**サブネットマスク**、**既定のゲートウェイ**、**DNS サーバー**設定などの情報を取得してください。
4. ▼ を押して調整したいアイテムを選択し、**ENTER** を押します。
5. ◀/▶ を押してカーソルを動かし、▲ /▼ を押して値を入力します。
6. 設定を保存するには、**ENTER** を押します。設定を保存したくない場合は、リモコンの **MENU/EXIT** を押すか、プロジェクタの **EXIT** を押します。
7. ▼ を押して**適用**を選択し、次に **ENTER** を押してください。

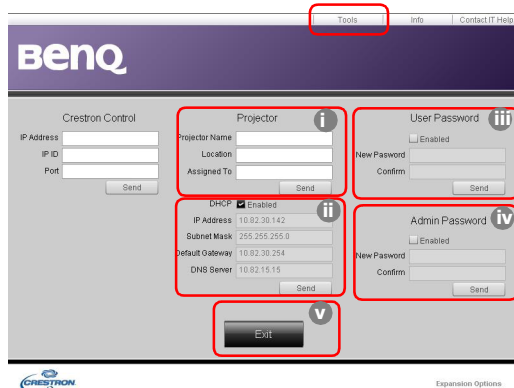
ウェブブラウザからプロジェクタを遠隔操作する

プロジェクタの正しい IP アドレスを取得し、プロジェクタをオンまたはスタンバイモードに設定した後は、同一 LAN に接続されているコンピュータを使ってプロジェクタを操作することができます。

1. ブラウザのアドレスバーにプロジェクタのアドレスを入力し、Go [移動] をクリックします。

2. リモートネットワーク操作ページが開きます。このページでは、プロジェクタをリモコンやプロジェクタのコントロールパネルから操作するときと同じ要領で操作することができます。

i	• メニュー（終了） • 消画 • 自動 • ソース • ▲（▭）• ▼（▭） • ◀（?）• ▶（🔒）	詳細は、11 ページの「リモートコントロール」を参照してください。
	• Enter	選択したオンスクリーンメニューアイテムを有効にします。
ii	入力ソースを切り替えるには、任意の信号をクリックしてください。 **ソースリストはプロジェクタで使用可能なコネクタによって変わります。[Video 1] とは、Video 信号を意味します。**	

ツールページでは、このプロジェクタでプロジェクタを管理したり、LAN 操作の設定を行ったり、リモートネットワーク操作のセキュアアクセスを設定したりすることができます。

日本語

i. プロジェクタに名前を付けたり、プロジェクタの場所や担当者を追跡したりすることができます。
ii. **LAN コントロール設定**を調整することができます。
iii. パスワードを設定すると、このプロジェクタのリモートネットワーク操作がパスワードで保護されます。
iv. パスワードを設定すると、ツールページへのアクセスがパスワードで保護されます。

調整後は、[送信] ボタンを押すとデータがプロジェクタに保存されます。

v. **Exit**（終了）を押すと、リモートネットワーク操作ページに戻ります。

情報ページには、このプロジェクタの情報と状態が表示されます。

詳細は、http://www.crestron.com と www.crestron.com/getroomview をご覧ください。

高地での操作

海抜 1500 メートル以上でこのプロジェクタを使用する場合、あるいは長時間（>10 時間）連続して使用する場合は、**高地モード** に設定するようお薦めします。

高地モードに設定するには :

1. プロジェクタで **MENU** を押すか、リモコンで **MENU/EXIT** を押して、**詳細セットアップ** メニューが選択されるまで ◄/► を押し続けてください。
2. ▼ を押して、**高地モード**を選択します。
3. ◄/► を押して**オン**を選択します。確認のメッセージが表示されます。
4. **はい**をハイライトして、**ENTER** を押します。

高地モードを選択した場合は、システムの性能を維持するために冷却ファンが回転速度を速めるために操作ノイズが高くなる場合があります。

上記の場合を除き、その他の極限環境でプロジェクタを使用すると、プロジェクタが自動的にシャットダウンする場合があります。これはプロジェクタを過熱から保護するために設置された機能です。このような場合は、**高地モード** に切り替えてこのような現象を解決してみてください。これは、このプロジェクタが極限状態でも操作可能であるということを保証するものではありません。

複数の画像ソースを同時に表示する

このプロジェクタは 2 台の入力ソースから同時に画像を表示することができます。この機能を使用すると、プレゼンテーションをより興味深く行うことができます。表示したい信号がプロジェクタに正しく接続されていることを確認してください。

PIP ウィンドウを表示するには：

1. プロジェクタで **MENU** を押すか、リモコンで **MENU/EXIT** を押して、**ディスプレイ** メニューが選択されるまで ◄/► を押し続けてください。
2. ▼ を押して **PIP** を選択し、次に **ENTER** を押してください。すると **PIP** ページが表示されます。
3. **PIP** を選択し、◄/► を押して**オン**を選択してください。

プロジェクタは現在有効な 2 つの信号を選択し、最後に表示した画像をメインのソースとして大きいスクリーンに表示します。

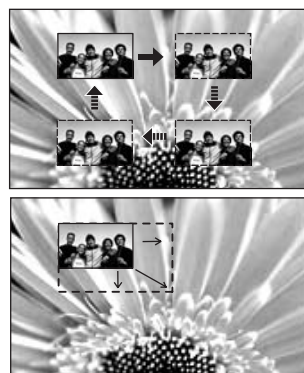
PIP 機能は次のソースの組み合わせで有効になります。

	ソース 2
ソース 1	CVBS
HDMI 1/2	V
コンポーネント 1/2	V
コンピュータ 1/2	V

4. **入力ソース** または **2 番目のソース**を変更するには、▼ を押して**入力ソース**か **2 番目のソース**を選択し、**ENTER** を押します。するとソース選択バーが表示されます。
5. ▲/▼ を使ってメイン（大きい方）ウィンドウか、2 番目のウィンドウに表示したいソースを選択し、**ENTER** を押すと設定が保存され、**PIP** ページに戻ります。
6. OSD 設定を 2 つのソース（メインか 2 番目）のうちのどちらかにするには、**アクティブウィンドウ**を選択した後、◄/► を押して調整したいソースを選択します。

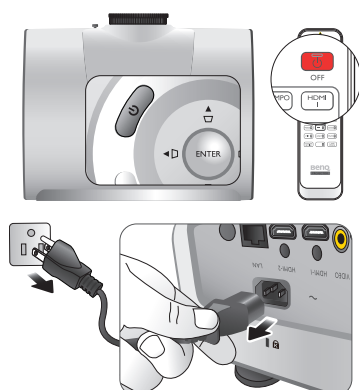
OSD メニューで行った設定は、アクティブウィンドウでしか有効になりません。次の OSD メニューは PIP のアクティブウィンドウには使用できません。自動ソース探知。

7. 小さい方の画像の位置を移動させるには、**位置** を選択し、適切な位置が選択されるまで ◄/► を押してください。
8. 小さい画像のサイズを変更するには、**サイズ**を選択し、◄/► を押して PIP サイズを**小さい**か**大きい**に設定します。
9. 設定を保存して OSD メニューを終了するには、プロジェクタの **MENU** を押すか、リモコンの **MENU/EXIT** を押してください。

日本語

終了

プロジェクタの電源を切るには、プロジェクタの**電源**（⏻）、またはリモコンの **OFF** を押すと確認メッセージが表示されます。もう一度**電源**（⏻）または **OFF** を押します。

- POWER（電源インジケータ ライト）がオレンジ色に点滅し、ファンが約 2 分間作動してランプを冷却します。プロジェクタは冷却が完了するまで、いかなるコマンドにも応答しません。
- その後、冷却が完了してファンが停止したら、POWER（電源インジケータ ライト）がオレンジ色に点灯します。
- 長期間プロジェクタをご使用にならない場合は、電源ケーブルを抜いておいてください。
- ランプを保護するため、冷却プロセスの間はプロジェクタはいかなるコマンドにも反応しません。

- **ランプの寿命は環境の状態と使用状況により異なります。**
- **プロジェクタを短期間の間に再起動しようとすると、数分間ファンが作動して冷却します。ファンが停止し、POWER（電源インジケータライト）がオレンジ色に点灯したら再び ⏻ 電源を押してプロジェクタを起動してください。**

OSD（On-Screen Display）メニュー

オン スクリーン ディスプレイ（OSD）の構造

OSD メニューは、選択した信号のタイプにより異なります。

メインメニュー	サブメニュー		オプション
ピクチャ -- 基本設定	ピクチャ モード	シネマ / ダイナミック / プレゼンテーション /sRGB/ ユーザー 1/ ユーザー 2	
	設定のロード元		
	輝度		0-100
	コントラスト		0-100
	色		0-100
	色合い		-20-+20
	シャープネス		0-8
	ピクチャ設定をリセット		
	ユーザー モード名の変更		
ピクチャ -- 高度な設定	ブラック レベル		0 IRE/7.5 IRE
	透明度調整	ノイズ リダクション	0/1/2/3
		詳細拡張設定	0-5
		ルマ転送	0/1/2
		クロマ転送	0/1/2
	色温度		ランプ ネイティブ / 高い / 標準 / 低い / ユーザー 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3
	ユーザー _ の色温度の微調整	赤ゲイン	0-100
		緑ゲイン	0-100
		青ゲイン	0-100
		赤オフセット	0-100
		緑オフセット	0-100
		青オフセット	0-100
	ガンマ選択		1-8
	Brilliant Color		オン / オフ
	色管理	基本色	赤 / 黄 / 緑 / シアン / 青 / マゼンタ
		範囲	0-100
		彩度	0-100
	Film Mode		オン / オフ
	3D Comb Filter		オン / オフ
	Dynamic Black		オン / オフ

メインメニュー	サブメニュー		オプション
ディスプレイ	縦横比		アナモフィック /4:3/ レター ボックス / ワイド / 実寸
	キーストーン		2D キーストーン
	位置		
	オーバースキャン調整		0/1/2/3
	カラースペース転送		自動 /RGB/YUV
	PIP	PIP	オン / オフ
		入力ソース	HDMI 1/HDMI 2/ ビデオ /Component 1/ Component 2/Computer 1/Computer 2
		2 番目のソース	
		アクティブ ウィンドウ	メイン /PIP
		位置	右上 / 左下 / 右下 / 左上
		サイズ	大きい / 小さい
	PC と コンポーネント YPbPr の調整	水平サイズ	-15-+15
		位相	-15-+15
		自動	
	画面オフタイマー		無効 /5 分 /10 分 /15 分 /20 分 /25 分 /30 分
システム設定	言語		English / Français / Deutsch / Italiano / Español / Русский / 繁體中文 / 简体中文 / 日本語 / 한국어 / Svenska / Nederlands / Türkçe / Čeština / Português / ไทย / Polski
	起動画面		BenQ/ 青 / 黒
	プロジェクタの配置		床面前面 / 天井前面 / 床面背面 / 天井背面
	背景色		黒 / パープル / 青
	メニュー設定	メニュー表示時間	5 秒 /10 秒 /15 秒 /20 秒 /25 秒 /30 秒
		メニュー位置	中央 / 左上 / 右上 / 右下 / 左下
		アラームメッセージ	オン / オフ
	操作設定	ダイレクト電源オン	オン / オフ
		信号入力時電源オン	オン / オフ
		自動パワーオフ	無効 /5 分 /10 分 /15 分 /20 分 /25 分 /30 分
		スリープ タイマー	無効 /30 分 /60 分 /90 分 /120 分 /150 分 /180 分
	入力ソース		HDMI 1/HDMI 2/ ビデオ /Component 1/ Component 2/Computer 1/Computer 2
	自動ソース探知		オン / オフ
	クローズドキャプション	クローズドキャプション有効	オン / オフ
		キャプションバージョン	CC1/CC2/CC3/CC4
	モニタ出力スタンバイ		オン / オフ

メインメニュー	サブメニュー		オプション
詳細セットアップ	ランプ設定	ランプ電源	標準 / 省電力
		タイマーのリセット	
		ランプ時間（低）	
	HDMI 設定	HDMI フォーマット	自動
			PC 信号
			ビデオ信号
	ボーレート		2400/4800/9600/14400/19200/38400/57600/115200
	テストパターン		
	高地モード		オン / オフ
	オーディオ設定	SRS	オン / オフ
		ミュート	オン / オフ
		音量	0-10
		高音	0-10
		低音	0-10
		電源オン / オフ音	オン / オフ
	パスワード	パスワード	オン / オフ
		パスワードの変更	（現在のパスワードを入力します）
	LAN コントロール設定	コントロール	RS232/RJ45
		DHCP	オン / オフ
		プロジェクタの IP アドレス	
		サブネットマスク	
		既定のゲートウェイ	
		DNS サーバー	
		AMX デバイス検索	オン / オフ
		適用	入力
	全設定をリセット		
	エキスパートモード		（現在のパスワードを入力します）
情報	ソース		
	ピクチャ モード		
	解像度		
	ランプ時間（低）		
	ファームウェアバージョン		

メニューアイテムはプロジェクタが最低 1 つの有効な信号を検出しなければ有効にはなりません。プロジェクタに装置が接続されていなかったり、信号が何も検出されなければ、限られたメニューアイテムにしかアクセスすることができません。

日本語

ピクチャ -- 基本設定メニュー

機能	説明
ピクチャ モード	あらかじめ定義したピクチャモードを利用すると、ご使用のプログラムタイプに最適なプロジェクタの画像を設定することができます。詳細は、28 ページの「プリセットモードの選択」を参照してください。
設定のロード元	必要な画質に最も合ったプリセットモードを選択し、下にリストした選択内容を元に画像を微調整します。詳細は、29 ページの「ユーザー 1/ ユーザー 2 モードの設定」を参照してください。
輝度	画像の輝度を調整します。詳細は、30 ページの「調整輝度」を参照してください。
コントラスト	画像の明るさと暗さの差を調整します。詳細は、30 ページの「調整コントラスト」を参照してください。
色	彩度レベル ñ ビデオ映像の各色の量を調整します。詳細は、30 ページの「調整色」を参照してください。
色合い	画像の赤と緑を調整します。詳細は、30 ページの「調整色合い」を参照してください。
シャープネス	画像がシャープまたはソフトになるように調整します。詳細は、30 ページの「調整シャープネス」を参照してください。
ピクチャ設定をリセット	**ピクチャ -- 基本設定**と**ピクチャ -- 高度な設定**メニューの全設定を工場出荷時の値に戻します。詳細は、29 ページの「ピクチャモードのリセット」を参照してください。
ユーザー モード名の変更	**ユーザー 1**、**ユーザー 2**、あるいは **sRGB** に別名を付けます。詳細は、29 ページの「ユーザーモードの名前変更」を参照してください。

ピクチャ -- 高度な設定メニュー

機能	説明
ブラック レベル	画像のグレイスケールを **0 IRE** か **7.5 IRE** に設定します。詳細は、31 ページの「設定ブラック レベル」を参照してください。
透明度調整	画像の明瞭さを調整します。詳細は、31 ページの「画像の透明度を調整する」を参照してください。
色温度	いくつかの色温度設定が使用できます。詳細は、31 ページの「色温度の選択 *」を参照してください。
ユーザー _ の色温度の微調整	詳細は、32 ページの「色温度の設定」を参照してください。
ガンマ選択	詳細は、32 ページの「ガンマ設定の選択」を参照してください。
Brilliant Color	詳細は、32 ページの「調整 Brilliant Color」を参照してください。
色管理	詳細は、33 ページの「色管理」を参照してください。
Film Mode	詳細は、33 ページの「設定 Film Mode」を参照してください。
3D Comb Filter	詳細は、33 ページの「設定 3D Comb Filter」を参照してください。
Dynamic Black	投写画像の黒のレベルを自動的に変更して、コントラスト比を向上させます。

ディスプレイメニュー

機能	説明
縦横比	入力信号ソースによって、画像の縦横比を設定するためのいくつかのオプションがあります。詳細は、34 ページの「縦横比の選択」を参照してください。
キーストーン	画像のキーストーンを補正します。詳細は、27 ページの「画像の歪みの補正する」を参照してください。
位置	位置調整ページが開きます。投写画像の位置を変えるには、方向矢印キーを使用します。ページの下に表示される値は、キーを押すたびにその最高値または最低値に達するまで変化します。 **この機能は Component 1、Component 2、または Computer 1 信号が選択されている場合にしか使用できません。**
オーバースキャン調整	四辺の画質が悪いエリアを隠します。隠す割合は、◀/▶ を使って手動で調整することもできます。0 に設定すると、画像が 100% 完全に表示されます。値を高くするほどより多くのエリアが隠され、スクリーンは幾何学的に正確に埋め尽くされます。
カラースペース転送	詳細は、22 ページの「カラースペースの変更」を参照してください。
PIP	PIP ウィンドウをオン / オフにして、関係のある調整を行います。詳細は、41 ページの「複数の画像ソースを同時に表示する」を参照してください。
PC と コンポーネント YPbPr の調整	**水平サイズ** 画像の幅を調整します。 **位相** クロック位相を調整して画像の歪みを縮減します。 **自動** 位相と周波数を自動的に調整します。 **これらの機能は Component 1、Component 2、または Computer 1 信号が選択されている場合にしか使用できません。**
画面オフタイマー	ブランク機能が有効になっているとき、画像をブランクにしておく時間を選択します。ここで設定した時間が経過すると、画像は元に戻ります。詳細は、36 ページの「画像を隠す」を参照してください。

日本語

システム設定メニュー

機能	説明
言語	オンスクリーン メニューの言語を設定します。詳細は、23 ページの「メニューの使用方法」を参照してください。
起動画面	プロジェクタ起動時に表示されるロゴ画面を、ユーザーが選択することができます。**BenQ** ロゴスクリーン、青スクリーン、黒スクリーンのいずれかを選択できます。
プロジェクタの配置	プロジェクタは、天井またはスクリーンの背後に設置したり、1 枚あるいは複数のミラーを使用して設置することができます。詳細は、13 ページの「場所の選択」を参照してください。
背景色	入力ソースが検出されないときに表示される、背景スクリーンの色を選択します。
メニュー設定	**メニュー表示時間** 最後にキーを押してからの OSD の表示時間を設定します。設定は 5 秒毎に 5 から 30 秒までの範囲で設定できます。 **メニュー位置** オン スクリーン ディスプレイ（OSD）メニューをオンにします。 **アラームメッセージ** 検出した信号の状態についての OSD メッセージを表示するかどうかを設定します。
操作設定	**ダイレクト電源オン** プロジェクタをコンセントに接続したときに、プロジェクタやリモコンの⏻**電源**キーを押さなくても、直接プロジェクタをオンにするかどうかを設定します。 **信号入力時電源オン** プロジェクタがスタンバイ モードになっており、VGA ケーブルを介して信号が入力されているときに、**電源**または **ON** を押さなくてもプロジェクタを直接オンにするかどうかを設定します。 **自動パワーオフ** 長時間信号が何も検出されなければ、投写を停止します。詳細は、53 ページの「設定 自動パワーオフ」を参照してください。 **スリープ タイマー** 自動的にシャットダウンするまでのタイマーを設定します。タイマーは 30 分から 3 時間までの範囲で設定できます。
入力ソース	投写する入力ソースを選択します。詳細は、22 ページの「入力ソースの選択」を参照してください。
自動ソース探知	プロジェクタで自動的に入力ソースを検索するかどうかを設定します。ソーススキャンが**オン**の場合、プロジェクタは信号を取得するまで入力ソースをスキャンします。この機能が有効になっていない場合は、最後に使用した入力ソースが選択されます。

クローズドキャプション	**クローズドキャプション有効** 選択した入力信号がクローズドキャプションを送信する場合は、**オン**を選択して機能を有効にします。 • キャプション : クローズドキャプション対応の（TV ガイドでは通常「CC」と記載されています）T V 番組やビデオの会話、ナレーション、サウンド効果をスクリーンに表示します。 **キャプションバージョン** 任意のクローズド キャプション モードを選択します。キャプションを表示するには、CC1、CC2、CC3、CC4（CC1 はキャプションをその地域の第一言語で表示します）を選択します。 **これらの機能は ビデオ 信号が選択されている場合にしか使用できません。**
モニタ出力スタンバイ	**オン**を選択すると、機能が有効になります。このプロジェクタはスタンバイモードで、**PC** ジャックが正しく装置と接続されている場合、VGA 信号を出力できます。接続方法については、20 ページの「モニタの接続」を参照してください。 **この機能を有効にすると、スタンバイ時の電力消費量を若干低減することができます。**

日本語

詳細セットアップメニュー

機能	説明
ランプ設定	**ランプ電源** プロジェクタのランプ電源のモードを**標準**か**省電力**に切り替えます。 **タイマーのリセット** ランプを交換した後は、**リセット**を選択してランプタイマーを 0 に戻してください。詳細は、56 ページの「ランプタイマーをリセットします。」を参照してください。 **ランプ時間（低）** ランプ時間情報を表示します。詳細は、53 ページの「ランプ時間を知るには」を参照してください。
HDMI 設定	HDMI 信号の入力ソースタイプを選択します。**自動** が既定値であり、推奨値でもあります。ソースタイプは手動でも選択できます。ソースタイプによって輝度レベルの標準が異なります。 **この機能は HDMI 信号が選択されている場合にしか使用できません。**
ボーレート	適切な RS-232 ケーブルを使ってプロジェクタをコンピュータに接続し、プロジェクタのファームウェアを更新またはダウンロードできるように、ボーレートはコンピュータと同じ値に設定してください。この機能は専門の技術者用に設けられています。
テストパターン	**ENTER** を押すとグリッドテストパターンが表示されます。これは画像サイズとピントを調整し、投写画像に歪みがないかどうかを確認するときに使用します。 この機能はプロジェクタが入力信号を検出しない場合にのみ有効となります。
高地モード	高地や温度が高い場所で使用するときのモードです。詳細は、40 ページの「高地での操作」を参照してください。
オーディオ設定	詳細は、37 ページの「音量調整」を参照してください。
パスワード	**パスワード** パスワードを知っているユーザーのみプロジェクタを操作できるようにします。詳細は、24 ページの「パスワード機能を使用する」を参照してください。 **パスワードの変更** 新しいパスワードに変更する前に、現在のパスワードを入力するよう要求されます。詳細は、24 ページの「パスワード機能を使用する」を参照してください。
LAN コントロール設定	詳細は、38 ページの「LAN 環境でプロジェクタを操作する」を参照してください。
全設定をリセット	すべての設定を工場出荷時の値に戻します。 **次の設定は現在の設定値のまま維持されます。ユーザーモードの名前、キーストーン、言語、プロジェクタの配置、高地モード、パスワード、エキスパートモード。**

エキスパートモード	**エキスパートモード** メニューはパスワードにより保護されており、認証されたキャリブレータしかアクセスすることができません。ISF（Imaging Science Foundation）は最適なビデオ性能を実現するために業界が認める規格を入念に開発し、技術者と設置技術者のトレーニングプログラムに導入しました。これらの規格を採用することにより、BenQ ビデオディスプレイ装置から最適な画質を得ることができます。したがって、ISF 認証を受けた技術者により設定と調整を行うよう推奨します。 **詳細は、www.imagingscience.com をご覧になるか、プロジェクタを購入された販売店へお尋ねください。**

情報メニュー

このメニューでは、プロジェクタの現在の操作状態を表示します。

項目によっては、特定の入力ソースを使用している場合にしか調整できないものもあります。調整できない項目はスクリーンには表示されません。

機能	説明
ソース	現在の信号ソースを表示します。
ピクチャ モード	**ピクチャ -- 基本設定 > ピクチャ モード**メニューで選択したモードを表示します。
解像度	入力ソースの最高解像度を表示します。
ランプ時間（低）	使用したランプ時間が表示されます。
ファームウェアバージョン	プロジェクタのファームウェアバージョンが表示されます。

日本語

追加情報

プロジェクタのお手入れ

ご使用のプロジェクタはほとんどメンテナンスの必要がありません。レンズを清潔に保つために、定期的なレンズのお手入れだけが必要です。ランプ以外はプロジェクタの部品は一切取り外さないでください。プロジェクタが正常に作動しなくなった場合は、販売店かお近くのカスタマーサービスセンターへお問い合わせください。

レンズのクリーニング

表面の汚れやほこりが付いていたら、レンズをクリーニングします。レンズのクリーニングを開始する前に、プロジェクタの電源をオフにして電源コードを抜き、完全に冷却されるまでしばらくお待ちください。

1. 圧縮空気スプレーを使用してほこりを取り除きます。（ハードウェア販売店やカメラショップでご購入いただけます。）
2. 汚れやしみが付いた場合は、適切なカメラレンズブラシを使用するか、レンズクリーナーで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭いてください。
3. 研磨用パッド、アルカリ性 / 酸性クレンザー、研磨剤入りパウダー、揮発性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤）などは一切ご使用にならないでください。ゴムやビニール部分にこのような素材を使用したり、長期間これらを接触したままの状態にしておくと、プロジェクタの表面やキャビネットの素材を傷つける場合があります。

- **レンズは絶対に指で触れたり、研磨剤を使用したり、こすったりしないでください。ペーパータオルでもレンズのコーティングがはがれる場合があります。適切なカメラレンズブラシ、布、クリーニング液だけを使用するようにしてください。プロジェクタがオンのとき、またはまだ熱を持っているときにレンズのクリーニングを行わないでください。**
- **レンズのお手入れを開始する前に、プロジェクタをオフにして完全に冷却してください。**

プロジェクタケースのクリーニング

ケースのクリーニングする前に、プロジェクタの電源をオフにして電源ケーブルを抜き、完全に冷却されるまでしばらくお待ちください。

1. ほこりや汚れを取り除くには、乾燥した柔らかい、けば立ちのない布で拭きます。
2. 落ちにくい汚れやしみを取り除くには、水で薄めた中性洗剤で布を湿らせて、ケースを拭きます。

ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。こうした薬剤を使用すると、ケースを傷める場合があります。

プロジェクタの保管

長期間プロジェクタを保管する必要がある場合は、次の手順に従ってください。

1. 保管場所の温度と湿度が、プロジェクタの推奨範囲内であることを確認します。範囲については、マニュアルの仕様ページを参照するか、販売店にお問い合わせください。
2. アジャスタフットを格納します。
3. リモコンから電池を取り外します。
4. プロジェクタを元の梱包または同等の梱包にしまいます。

プロジェクタの移動

プロジェクタを搬送するときは、元の梱包または同等の梱包で行うことを推奨します。

ランプについて

ランプ時間を知るには

プロジェクタが作動している間、プロジェクタに内蔵されたタイマーがランプの使用時間（時間単位）を自動的に計算します。ランプ時間の計算方法は次の通りです。

ランプ時間（補正済み）
= 1（**省電力**モードでの使用時間）+3/2（**標準**モードでの使用時間）

省電力モードについての詳細は、" ランプ電源を省電力に設定する " を参照してください。

ランプ使用時間を知るには：

1. プロジェクタで **MENU** を押すか、リモコンで **MENU/EXIT** を押して、**詳細セットアップ**メニューが選択されるまで ◄/► を押し続けてください。
2. ▼ を押して**ランプ設定**を選択し、次に **ENTER** を押してください。すると **ランプ設定** ページが表示されます。
3. ランプ使用時間は、**ランプ時間（低）**の欄に表示されます。
4. メニューを終了するには、プロジェクタの **MENU** を押すか、リモコンの **MENU/EXIT** を押します。

ランプ寿命を延長する

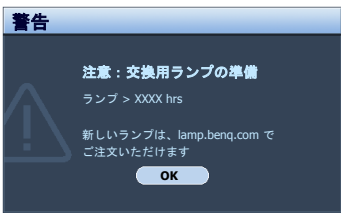
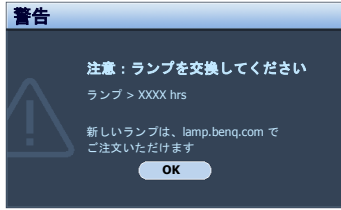
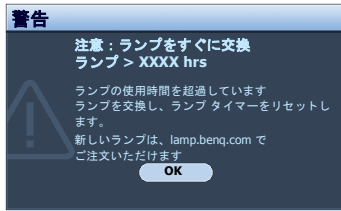
投射ランプは消費アイテムです。ランプの寿命をできるだけ長く維持するには、OSD メニューで次の設定を行ってください。

- **ランプ電源を省電力に設定する**

省電力モードに設定すると、システムノイズと電力消費量を低減することができます。**省電力**モードを有効にすると、出力されるライトが低減され、その結果投写画像が暗くなります。

プロジェクタを**省電力**モードで使用すると、ランプの寿命を延長することができます。**省電力**モードに設定するには、**詳細セットアップ** > **ランプ設定** > **ランプ電源**メニューに進み、◄/► を押します。

- **設定 自動パワーオフ**

指定した時間を経過しても入力ソースが検出されないときに、自動的にプロジェクタの電源をオフにします。

自動パワーオフを設定するには、**システム設定** > **操作設定** > **自動パワーオフ**メニューに進み、◄/► を押して時間を選択します。タイマーは 5 分おきに 5 分から 30 分の範囲で設定できます。プリセットの時間がこれから行うプレゼンテーションに合わない場合は、**無効**を選択してください。この場合、一定時間が経過してもプロジェクタは自動的にシャットダウンしません。

ランプを交換する時期

LAMP（ランプインジケータ ライト）が赤に点灯した場合、またはランプの交換時期であることを示すメッセージが表示された場合は、新しいランプを取り付けるか、お買い上げの販売店にご相談ください。古いランプを使用すると、プロジェクタの誤動作の原因となり、ランプが破裂することもあります。ランプの交換については、http://lamp.BenQ.com をご覧ください。

ランプの温度が異常に高くなると、ランプインジケータライトおよび温度警告ライトが点灯します。この場合は、電源をオフにして 45 分間ほど放置し、プロジェクタを常温に戻してください。このようにしても電源をオンにしたときに「Lamp」（ランプ）インジケータまたは「Temp」（温度）インジケータが点灯する場合は、販売店にご相談ください。詳細は、57 ページの「インジケータ」を参照してください。

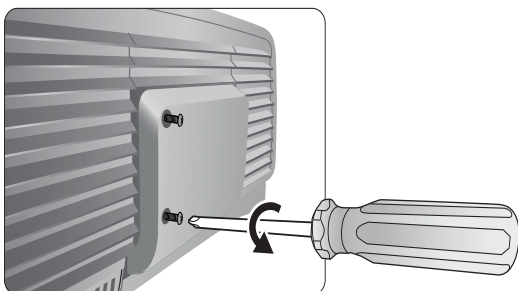
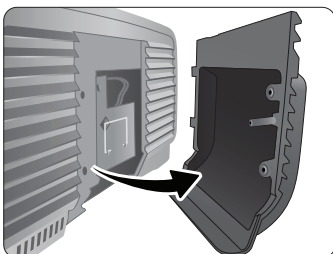
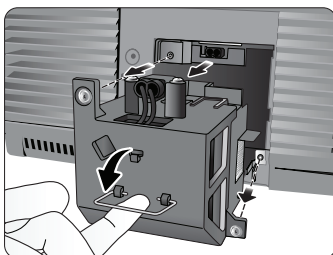
次のランプ警告が表示されたら、ランプを交換してください。

状態	メッセージ
動作を最適化するために、新しいランプを取り付けてください。通常プロジェクタを**省電力** モードで起動している場合は（53 ページの「ランプ時間を知るには」を参照してください）、次回のランプ警告メッセージが表示されるまでプロジェクタを使用することができます。 メッセージを消去するには、**ENTER** を押します。	警告 注意：交換用ランプの準備 ランプ > XXXX hrs 新しいランプは、lamp.benq.com で ご注文いただけます OK
この時点でランプを交換されるよう強くお薦めします。ランプは消費アイテムです。ランプは使用を重ねる毎に明るさが徐々に失われます。これは正常な状態です。ランプが非常に暗くなったら、いつでもランプを交換してください。 メッセージを消去するには、**ENTER** を押します。	警告 注意：ランプを交換してください ランプ > XXXX hrs 新しいランプは、lamp.benq.com で ご注文いただけます OK
プロジェクタを正常に動作させるには、ランプを交換してください。 メッセージを消去するには、**ENTER** を押します。	警告 注意：ランプをすぐに交換 ランプ > XXXX hrs ランプの使用時間を超過しています ランプを交換し、ランプ タイマーをリセットします。 新しいランプは、lamp.benq.com で ご注文いただけます OK

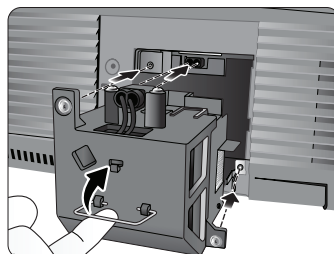
上記のメッセージで「XXXX」の部分に表示される数字はモデルによって異なります。

ランプの交換

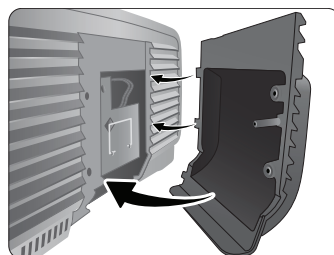
- **感電を防ぐため、ランプを交換する前には必ずプロジェクタの電源をオフにし、電源ケーブルを抜いてください。**
- **重度のやけどを負う危険を防ぐため、ランプを交換する前に、最低でも 45 分間はプロジェクタを冷却してください。**
- **割れて鋭くなったランプのガラス片を取り除く場合は、指をけがしたり、内部部品を破損したりしないように、十分注意してください。**
- **指のけがや、レンズに触れることによる画質の劣化を避けるため、ランプを取り外すときに空のランプ ケースには触れないでください。**
- **このランプの中には水銀が入っています。ランプの処分は、地元の有害廃棄物規制条例にしたがって、正しい方法で行ってください。**

1. 電源をオフにして、プロジェクタをコンセントから抜きます。接続されている機器をすべてオフにして、すべてのケーブルを外します。詳細は、42 ページの「終了」を参照してください。
2. プロジェクタを少し持ち上げます。ランプカバーのネジを緩めます。

3. ランプカバーを外します。

4. ランプをプロジェクタに固定しているネジを緩めます。指にけがをする恐れがあるので、ネジを完全に緩めてください。
5. ハンドルがランプに対して直角になるように持ってください。ハンドルを使ってゆっくりとランプをプロジェクタから引き出します。

注意

- **急激に引っ張るとランプが割れ、ガラスの破片がプロジェクタ内に散乱します。指にけがをしたり、内部コンポーネントにキズがついたりする場合がありますので、破損したランプガラスを除去するときには特に注意してください。**
- **取り出したランプは水のかかる場所、子供の手が届く場所、可燃物の付近には置かないでください。**
- **ランプを取り出した後は、プロジェクタ内に手を入れないでください。内部の光学コンポーネントに触れると、画像ぼけの原因となります。**

6. 交換ランプを挿入します。ランプが正しい位置に挿入されたことを確認してください。
7. ランプボックスを固定するネジを締めます。
8. ハンドルをしっかりとロックしてください。

注意

- **ネジは締めすぎないでください。**
- **ネジの締め方がゆるいと接触が悪くなり、故障の原因になる場合があります。**

9. ランプカバーを元に戻します。

10. ランプカバーのネジを締めます。
11. 電源を再び入れて、プロジェクタをオンにします。

日本語

ランプタイマーをリセットします。

ランプを交換していない場合はリセットしないでください。ランプが破損する恐れがあります。

1. スタートアップロゴが表示された後、プロジェクタで **MENU** を押すか、リモコンで **MENU/EXIT** を押して、**詳細セットアップ**メニューが選択されるまで ◀/▶ を押し続けてください。
2. ▼ を押して**ランプ設定**を選択し、次に **ENTER** を押してください。すると**ランプ設定**ページが表示されます。
3. **タイマーのリセット**を選択し、**ENTER** を押します。ランプタイマーをリセットしても良いかどうかを確認するためのメッセージが表示されます。**リセット**を選択し、**ENTER** を押します。するとランプ時間が 0 にリセットされます。

日本語

インジケータ

プロジェクタの状態を示すインジケータライトは 3 個あります。インジケータライトについては、次の情報を参照してください。問題がある場合はプロジェクタの電源を切り、販売店にお問い合わせください。

ライト			状態と説明
POWER	TEMP	LAMP	
電源の状況			
オレンジ	オフ	オフ	スタンバイ モードです。
緑 に点滅	オフ	オフ	電源を入れています。
緑	オフ	オフ	通常動作状態です。
オレンジ に点滅	オフ	オフ	通常の電源オフ冷却
ランプの状況			
オフ	オフ	赤	通常動作時にランプ エラー発生
オレンジ	オフ	赤	ランプ不点灯
温度の状況			
オフ	赤	オフ	ファン 1 エラー（実際のファン速度が適正速度よりも ±25% オーバー）
オフ	赤	赤	ファン 2 エラー（実際のファン速度が適正速度よりも ±25% オーバー）
オフ	赤	緑	ファン 3 エラー（実際のファン速度が適正速度よりも ±25% オーバー）
オフ	赤	オレンジ	ファン 4 エラー（実際のファン速度が適正速度よりも ±25% オーバー）
オレンジ	赤	赤	温度 1 エラー（上限温度オーバー）
オレンジ	赤	緑	温度 1 エラー（上限温度オーバー）
オフ	オレンジ	赤	電源をオンにしたときにファンは回転しません

日本語

トラブルシューティング

問題	原因	対応
プロジェクタの電源がオンにならない	電源コードから電源が来ていません。	電源コードをプロジェクタの電源コードソケットとコンセントに差し込みます。コンセントにスイッチがある場合は、スイッチがオンになっていることを確認します。(詳細は 21 ページを参照してください。)
	冷却プロセスの間にプロジェクタの電源をオンにしようとしています。	冷却プロセスが完了するまでお待ちください。
	ランプカバーがしっかり装着されていません。	ランプカバーを正しく装着しなおしてください。(詳細は 54 ページを参照してください。)
画像が映らない	ビデオ ソースがオンになっていないか、正しく接続されていません。	ビデオ ソースをオンにし、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。(詳細は 18 ページを参照してください。)
	プロジェクタが正しく入力ソース機器に接続されていません。	接続を確認します。(詳細は 18 ページを参照してください。)
	入力ソースが正しく選択されていません。	リモコンの Source キーを押すか、プロジェクタの **SOURCE** を押して、正しい入力ソースを選択します。(詳細は 22 ページを参照してください。)
イメージが不安定	接続ケーブルがプロジェクタまたは信号ソースにしっかりと接続されていません。	ケーブルを適切な端末に正しく接続します。(詳細は 18 ページを参照してください。)
イメージがぼやける	投写レンズの焦点が合っていません。	ピントリングで焦点を合わせます。(詳細は 26 ページを参照してください。)
	プロジェクタとスクリーンの位置が正しく合っていません。	投写角度および方向、また必要であればプロジェクタの高さを調整します。(詳細は 26 ページを参照してください。)
リモコンが機能しない。	電池が切れています。	新しい電池に交換します。(詳細は 7 ページを参照してください。)
	リモコンとプロジェクタの間に障害物があります。	障害物を取り除きます。(詳細は 7 ページを参照してください。)
	プロジェクタからの距離が遠すぎます。	プロジェクタから 8 メートル(26.2 フィート)以内の場所に立ちます。(詳細は 7 ページを参照してください。)

仕様

仕様はすべて予告なしに変更されることがあります。

■ 光学仕様

投写システム	1-CHIP DLP™ システム
DMD チップ	0.65" DLP（1920 x 1080）
レンズ	F = 2.48 ～ 2.81、f = 24.1 ～ 36.15 mm
投写スクリーンサイズ	30" ～ 300"
ランプ	300W

■ 電気仕様

互換性	PC: 640 x 400 ～ 1920 x 1200 ビデオ：NTSC、PAL、SECAM、YPbPr（480i/480p/576i/576p）、HDTV（720p/1080i/1080p） DDC 2B
カラースペース	タイプ = 60% NTSC（ターゲットカラー全域 = HDTV Rec. 709）

■ 端末

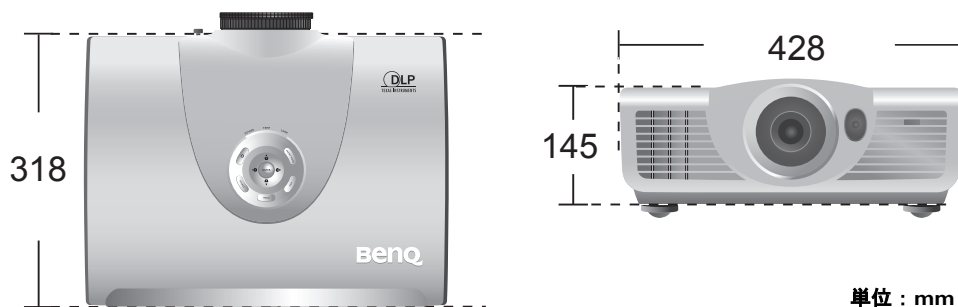
入力	アナログ RGB：D-sub 15-pin（メス）x 1 HDMI（V. 1.3）x 2 5BNC コンポーネントビデオ x 1 コンポーネントビデオ（Y/CB/CR、Y/PB/PR）x 1（RGB 入力と共有） コンポジットビデオ x 1 PC オーディオ x 1
出力	12VDC（最大 0.5 A） アナログ RGB：D-sub 15-pin（メス）x 1 PC オーディオ x 1 スピーカー：10W x 1
コントロール	シリアルコネクタ：RS232 9 ピン（オス） ミニ B タイプ USB x 1 IR 受信機 x 2 RJ45 x 1 LAN x 1

■ 機械仕様

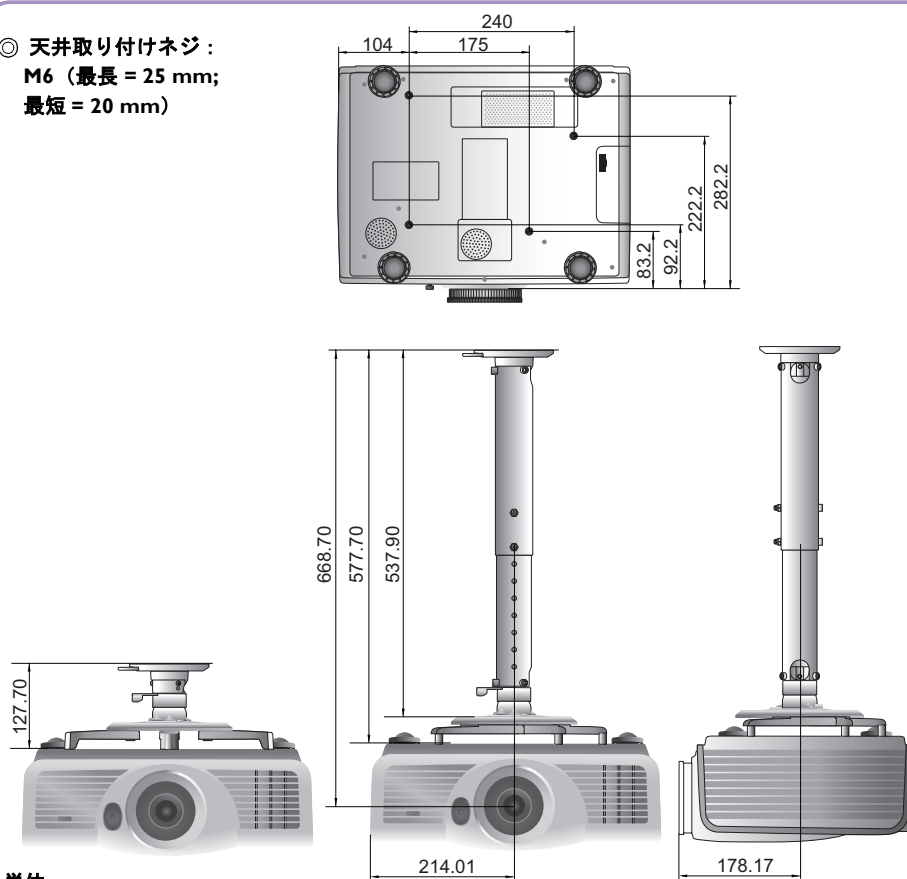
プロジェクタの重量	< 7.2 kg（15.9 lbs）
電源	VAC 100 -240V、5A、50 / 60Hz（自動）
消費電力	最大 470W; スタンバイ < 0.5W
動作温度範囲	0°C ～ 40°C（海抜 0 メートル）
動作湿度	10% ～ 90%（結露なきこと）
動作高度	0 ～ 1499 m（0°C ～ 35°C） 1500 ～ 3000 m（0°C ～ 30°C）（高地モードをオンのとき）

保管温度	-20°C ～ 60°C / -4°F ～ 140°F
保管湿度	10% - 90%

■ 外形寸法

428mm x 318 mm x 145 mm（幅 x 奥 x 高）

■ 天井取り付け

◎ 天井取り付けネジ：
M6（最長 = 25 mm;
最短 = 20 mm）

単位：mm

■ タイミングチャート

サポートされる PC 入力のタイミング

フォーマット	解像度	リフレッシュレート（Hz）	水平周波数（KHz）	ピクセル周波数（MHz）
640 x 480	640 x 480	59.94	31.469	25.175
		72.809	37.861	31.5
		75	37.5	31.5
		85.008	43.269	36
720 x 400	720 x 400	70.087	31.469	28.3221
800 x 600	800 x 600	60.317	37.879	40
		72.188	48.077	50
		75	46.875	49.5
		85.061	53.674	56.25
1024 x 768	1024 x 768	60.004	48.363	65
		70.069	56.476	75
		75.029	60.023	78.75
		84.997	68.667	94.5
*1024 x 576	1024 x 576	60	35.82	46.996
*1024 x 600	1024 x 600	64.995	41.467	51.419
1152 x 864	1152 x 864	75	67.5	108
1280 x 720	1280 x 720	60	45.000	74.250
1280 x 768	1280 x 768	60	47.396	68.25
		59.87	47.776	79.5
1280 x 800	1280 x 800	59.81	49.702	83.5
		74.934	62.795	106.5
		84.88	71.554	122.5
1280 x 1024	1280 x 1024	60.02	63.981	108
		75.025	79.976	135
		85.024	91.146	157.5
1280 x 960	1280 x 960	60	60	108
		85.002	85.938	148.5
1360 x 768	1360 x 768	60.015	47.712	85.5
1440 x 900	1440 x 900	60	55.469	88.75
		59.887	55.935	106.5
1400 x 1050	1400 x 1050	59.978	65.317	121.75
1600 x 1200	1600 x 1200	60	75	162
1680 x 1050	1680 x 1050	59.954	65.29	146.25
640 x 480@67Hz（MAC13）	640 x 480@67Hz	66.667	35	30.24
832 x 624@75Hz（MAC16）	832 x 624@75Hz	74.546	49.722	57.28
1024 x 768@75Hz（MAC19）	1024 x 768@75Hz	75.020	60.241	80
1152 x 870@75Hz（MAC21）	1152 x 870@75Hz	75.06	68.68	100

*** PC（アナログ RGB）入力のみ**

サポートされる HDMI（HDCP）入力のタイミング

フォーマット	解像度	リフレッシュレート（Hz）	水平周波数（KHz）	ピクセル周波数（MHz）
480i	720 x 480	59.94	15.734	27
480p	720 x 480	59.94	31.469	27
576i	720 x 576	50	15.625	27
576p	720 x 576	50	31.25	27
720/50p	1280 x 720	50	37.5	74.25
720/60p	1280 x 720	60	45	74.25
1080/50i	1920 x 1080	50	28.125	74.25
1080/60i	1920 x 1080	60	33.75	74.25
1080/24P	1920 x 1080	24	27	74.25
1080/25P	1920 x 1080	25	28.125	74.25
1080/30P	1920 x 1080	30	33.75	74.25
1080/50P	1920 x 1080	50	56.25	148.5
1080/60P	1920 x 1080	60	67.5	148.5

EDTV および HDTV 入力用にサポートされているタイミング （コンポーネント入力）

フォーマット	解像度	リフレッシュレート（Hz）	水平周波数（KHz）	ピクセル周波数（MHz）
480i	720 x 480	59.94	15.734	13.5
480p	720 x 480	59.94	31.469	27
576i	720 x 576	50	15.625	13.5
576p	720 x 576	50	31.25	27
720/50p	1280 x 720	50	37.5	74.25
720/60p	1280 x 720	60	45	74.25
1080/50i	1920 x 1080	50	28.125	74.25
1080/60i	1920 x 1080	60	33.75	74.25
1080/24P	1920 x 1080	24	27	74.25
1080/25P	1920 x 1080	25	28.125	74.25
1080/30P	1920 x 1080	30	33.75	74.25
1080/50P	1920 x 1080	50	56.25	148.5
1080/60P	1920 x 1080	60	67.5	148.5

サポートされるビデオ入力のタイミング

フォーマット	解像度	リフレッシュレート（Hz）	水平周波数（KHz）	ピクセル周波数（MHz）
NTSC 3.58	-	60	15.734	3.58
NTSC 4.43	-	60	15.734	4.43
PAL-B/G	-	50	15.625	4.43
PAL M	-	60	15.734	3.58
PAL N	-	50	15.625	3.58
PAL 60	-	60	15.734	4.43
SECAM	-	50	15.625	4.25/4.43

保証と著作権について

保証

BenQ は、本製品が正常に使用および保管される場合に限り、本製品の材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。

保証を受ける際には、購入日の証明が必要となります。保証期間中に本製品に瑕疵があることが判明した場合、BenQ の全責任と、お客様に対する全面的な補償は、瑕疵のある部品の交換（工賃を含む）に限られます。保証サービスを受ける場合は、製品を購入した販売店に直ちに連絡してください。

重要：お客様が BenQ の文書による指示に従わずに操作を行った場合はこの保証は無効となります。特に本製品は環境湿度 10% から 90% の間、温度 0°C から 35°C の間、高度 3000 メートル以下の環境でご使用になり、ホコリが立ちやすい場所での使用はお止めください。この保証により、お客様には特定の法的権利が与えられます。また、在住している国によっては、お客様にその他の権利が与えられることもあります。

詳細は、弊社ホームページ www.BenQ.com をご覧ください。

著作権

免責

BenQ コーポレーションは、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。さらに、BenQ コーポレーションは本書を改定する権利と、このような改定や変更についていかなる人物に対しても BenQ コーポレーションが通知する義務を負うことなく内容を変更できる権利を有しています。

SRS WOW HD は SRS Labs, Inc. の商標です。WOW HD テクノロジーは、SRS Labs, Inc. のライセンスのもとに組み込まれています。

WOW HD™ は再生音質を飛躍的に高め、重厚な低音と透明感のあるクリアなサウンドを楽しめる究極のダイナミック 3D エンターテイメントを実現します。